



**BMW
MOTORRAD**

RIDER'S MANUAL

CE 04



MAKE LIFE A RIDE

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

電話番号

ディーラー所在地／電話(スタンプ)

BMWの世界へようこそ。

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございます。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された新規車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。

また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備とお手入れに関する情報が掲載されています。

将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad.

01 一般的な情報	2	04 取扱方法	50
分かりやすい構成	4	作動可能状態サドウカノ	
記号と意味	4	ウジョウタイ	52
装備	5	イグニッションキルス	
仕様(諸元)	5	イッチ	56
本書の記述について	6	後退走行	57
補足情報	6	ライト	58
認証および運転許可	6	デイルイト	59
データ処理について	6	ハザードランプ	60
		ウインカー	60
02 全体図	12	走行モード	61
左側面	14	盗難警報装置(DWA)	62
右側面	15	タイヤ空気圧コントロー	
左コンビネーションス		ル(RDC)	65
イッチ	16	ヒーター	65
右コンビネーションス		ストレージコンパートメ	
イッチ	17	ント	66
メーターパネル	18	ヘルメット用コンパート	
		メント	68
03 表示	20	05 TFT ディスプレイ	70
インジケーター／警告灯	22	一般的な情報	72
TFT ディスプレイ	23	原理	73
(Pure Ride 画面)		Pure Ride 画面	79
TFT ディスプレイ(メ		Pure 画面	80
ニュー画面)	24	スプリットスクリーン	80
TFT ディスプレイ(充電画		一般的な設定	81
面)	25	Bluetooth	83
警告表示	26	WLAN	85
		My Motorcycle	86
		オンボードコンピュー	
		ター	89
		ナビゲーション	90
		メディア	92
		電話	93

ソフトウェアバージョン を表示する	94	09 技術情報	130
ライセンス情報を表示する	94	一般的な情報	132
		アンチロックブレーキシステム(ABS)	132
		トラクションコントロール(ASC/DTC)	135
06 調整	96	回生スタビリティコントロール(RSC)	136
ミラー	98	走行モード	137
ヘッドライト	98	ダイナミックブレーキコントロール	139
スプリングプリロード	99	タイヤ空気圧コントロール(RDC)	139
		アダプティブヘッドライト	141
07 BMW EPOWER	102		
原理	104	10 メインテナンス	142
一般的な情報	104	一般的な情報	144
充電ケーブル	106	標準ツールキット	145
チャージプロセス	108	ブレーキシステム	145
		クーラント	148
08 走行	116	タイヤ	149
安全に関する注意事項	118	リムとタイヤ	150
チェックリストを確認し、遵守する	119	ライトバルブ	151
走行開始のたびに：	120	フェアリング部品	151
10 回目の充電プロセスごとに	120	バッテリー	153
走行スタンバイを確立する	120	ヒューズ	157
E-Scooter で走行する	122	診断コネクター	159
慣らし走行	125		
ブレーキ	125	11 アクセサリー	160
E-Scooter の駐車	126	一般的な情報	162
E-Scooter を運搬のために固定する	127	電源ソケット	162
		トップケース	163

12 お手入れ	168
---------	-----

ケア用品	170
洗車	170
損傷しやすい車両部品の お手入れ	171
ペイントのお手入れ	172
保護コーティング	173
E-Scooter の長期保管	173
E-Scooter の再使用	174

13 テクニカルデータ	176
-------------	-----

トラブルシューティング	178
充電	180
駆動部	180
ギヤボックス	181
リヤホイールドライブ	181
フレーム	181
サスペンション	181
ブレーキ	182
ホイールとタイヤ	182
電装系	183
盗難警報装置	185
寸法	185
重量	186
性能	186

14 サービス	188
---------	-----

リサイクル	190
BMW Motorrad サービス	190
BMW Motorrad サービス履 歴	191
BMW Motorrad モビリティ サービス	191
メンテナンス作業	191

メインテナンススケ ジュール	193
メインテナンスの確認	194
一般整備記録	206

15 認証	208
-------	-----

ハイボルテージセルモ ジュールの出力および 条件に対する BMW CE 04 Battery Certificate	210
---	-----

付録	212
----	-----

電子式イモビライザーに 関する認証	213
Keyless Ride に関する認 証	216
タイヤ空気圧コントロー ルに関する認証	220
TFT メーターパネル用認 証	221

索引	226
----	-----

一般的な情報

01

分かりやすい構成	4
記号と意味	4
装備	5
仕様(諸元)	5
本書の記述について	6
補足情報	6
認証および運転許可	6
データ処理について	6

4 一般的な情報

分かりやすい構成

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、この E-Scooter についての概要を把握なさりたい場合は、第2章をご覧ください。「サービス」の章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。



車両部品の警告ラベル

車両部品に貼付されている警告ラベルは、高電圧技術やハイボルテージコンポーネントが不適切に取り扱われた場合、感電により、生命に危険を及ぼす重傷を負う危険が生じることを示します。

記号と意味

⚠ 注意 リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

⚠ 警告 リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

⚠ 危険 リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

⚠ 重要事項 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

i モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

➡ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様(諸元)。

LA 国別仕様。

OE オプション装備
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。

OA アクセサリー
BMW Motorrad アクセサリーのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad デイラーにて承ります。

ABS アンチロックブレーキシステム。

ASC オートマチックスタビリティコントロール(ASC)。

DTC ダイナミックトラクションコントロール。

DWA 盗難警報装置(DWA)。

EWS 電子式イモビライザー。

RDC タイヤ空気圧コントロール。

RSC 回生スタビリティコントロール。

装備

E-Scooter のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。この Rider's Manual では、BMW が提供しているオプション(OE) および一部のアクセサリ(OA) について説明されています。そのため、ご使用のモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されている車両と異なる場合があります。

お客様の E-Scooter に、この Rider's Manual に記載されていない装備が含まれている場合、その装備範囲は別の取扱説明書に記載されています。

仕様(諸元)

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。

本取扱説明書のテクニカルデータと仕様は基準として参照して

6 一般的な情報

ください。選択されたオプション装備、国別仕様または各国の測定方法などの理由により、モデル別のデータは本書と異なることがあります。詳細データについては自動車登録証でご確認いただけます。あるいは、BMW Motorrad ディーラー、その他の認定サービスパートナー、または専門の整備工場にお問い合わせください。車検証のデータが常にこの取扱説明書のデータより優先されます。

本書の記述について

BMW E-Scooter の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際の車両とは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

補足情報

BMW Motorrad ディーラー

BMW Motorrad ディーラーはいつでもご質問にお答えします。

インターネット

車両の Rider's Manual、アクセサリーの操作および取付説明書、技術関連情報など、BMW Motorrad に関する一般的な情報については、bmw-motorrad.com/manuals をご覧ください。

認証および運転許可

車両の認証およびアクセサリーに関する官庁の使用許可については、

bmw-motorrad.com/certification でご確認ください。

データ処理について

一般的な情報

車両にはコントロールユニットが取り付けられています。コントロールユニットは、データを車両センサーから受信したり、自身で生成または交換するなどの処理を行います。いくつかのコントロールユニットは車両の安全機能に必須であったり、ドライビングアシスタントシステムなどのように走行をサポートしたりします。さらにコントロールユニットはコンフォート機能やインフォテイメント機能を可能にします。

保存または転送されたデータの取り扱いに関する情報は、車両

メーカーの個別カタログなどで得ることができます。

個人特定

各車両には一義的な車両識別番号が付けられています。国に応じて、車両識別番号、ライセンスナンバープレートおよび該当官庁により車両所有者を特定することができます。さらに、使用した ConnectedDrive アカウントなどにより車両で集められたデータによってライダーや車両所有者を特定することもできます。

データ保護法

車両使用者は有効なデータ保護法にしたがい、メーカーや個人データを収集または処理する企業に対して特定の権利を有します。

車両使用者は、車両使用者の個人データを保存する機関に対して無償および包括的な情報開示請求権を有します。

この機関とは次のようなものがあります：

- 車両メーカー
- 認定サービスパートナー
- 専門の整備工場
- サービスプロバイダー

車両使用者はどの個人情報が保存され、どのような目的でそのデータが利用され、どこに由来するのか、についての情報を請求す

ることができます。これらの情報を請求するには、所有または使用証明が必要です。

情報開示請求には他の企業や機関に転送されたデータに関する情報も含まれます。

車両メーカーのウェブページには、有効なデータ保護に関する注意事項が記載されています。このデータ保護に関する注意事項には、データの削除や訂正を行う権利についての情報も含まれます。車両メーカーはインターネットでも、連絡先データやデータ保護委託会社の問い合わせ先を記載しています。

車両所有者はBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナー、専門の整備工場において車両に保存されたデータを有償で読み出すことができます。

車両データの読み出しは、法的に定められた車載コンピューター診断装置(OBD) 用ソケットから行います。

データ開示請求のための法的要件

車両メーカーは有効な法の範囲内で、保存されているデータを官庁に提供する義務があります。必要範囲のデータ提供は、犯罪証明など個別のケースで行われます。

8 一般的な情報

国の機関は有効な法の範囲内で、個別のケースにおいてその機関でデータを車両から読み出す権利を有します。

車両の作動データ

車両を作動させる際、コントロールユニットがデータを処理します。

例えば以下が含まれます：

- ホイール回転数、ホイール回転速度、動作遅延などの、モーターサイクルおよびその個々のコンポーネントのステータスメッセージ
- 温度などの環境状況

処理データは車内でのみ処理され、通常は揮発性データです。このデータは作動時間外にはメモリーされません。

コントロールユニットなどの電子部品は、技術情報を保存するためのコンポーネントを含みます。これは車両状態や部品への負荷、イベント、エラーに関する情報を一時的または長期的にメモリーすることができます。

これらの情報は一般に、以下のようなコンポーネント、モジュール、システム、および環境の状態を示すものです：

- システムコンポーネントの作動状態、例えば充填レベル、タイヤ空気圧など
- 重要なシステムコンポーネントの機能異常、故障、例えばライトおよびブレーキ
- 特別な走行状況での車両の反応、例えばドライビングスタビリティコントロールの作動
- 車両損傷の状況に関する情報

これらのデータはコントロールユニット機能の実行に必要です。さらにこれらのデータは機能不良の検出と解消、車両メーカーによる車両機能の最適化に使用されます。

これらのデータの大部分は揮発性であり、車両自体でのみ処理されます。一部のデータのみ、状況に応じてイベントまたはディフェクトメモリーに保存されます。

例えば修理作業、サービスプロセス、保証、品質保証などでサービス業務が要求される場合、車両からこれらの技術的な情報と車両識別番号を読み出すことができます。

情報の読出しはBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場で行うことができます。読出しには、法律で規定された車載コンピューター診断装

置(OBD)用ソケットを使用します。

データはサービスネットワークの各拠点で集計、処理、利用されます。このデータは車両の技術的な状態を記録し、故障の発見や補償義務および品質改善の遵守のために使用されます。

さらにメーカーは製造物責任法により製品監視義務を担っています。この義務を果たすために、車両メーカーは車両からの技術的なデータを必要とします。これに加えて、車両からのデータは顧客からの補償および保証要求の検査にも使用されます。車両のエラーおよびイベントメモリーは、BMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場において修理またはサービス作業の範囲でリセットすることができます。

データ入力と車両へのデータ転送

一般的な情報

装備に応じて、コンフォート設定および個人設定を車両にメモリーし、いつでも変更することができます。

例えばスマートフォンを介して、データを車両のエンターテイメントおよび通信システムに送信することができます。

これは装備に応じて異なります：

- 再生用音楽などのマルチメディアデータ
- ナビゲーションシステムまたは内蔵のナビゲーションシステムと接続して利用されるアドレス帳データ
- 入力された目的地
- インターネットサービスの利用に関するデータ。これらのデータは車両にローカルでメモリーすることができます。あるいはスマートフォン、USB メモリー、MP3 プレーヤーなど、車両と接続された機器に入っています。これらのデータを車両にメモリーした場合は、いつでも削除することができます。

これらのデータを第三者へ転送することは、オンラインサービスの利用の枠組みにおいて個人の希望に基づいてのみ行われます。これはサービス利用時の希望設定によって異なります。

モバイル端末機器の接続

装備に応じて、スマートフォンなど、車両と接続されたモバイル端末機器を車両の操作エレメントにより制御することができます。

その場合、モバイル端末機器の画像と音声をマルチメディアシステムを介して出力することができます。同時に、モバイル端末機器に特定の情報が伝送されま

10 一般的な情報

す。接続方式によって、位置データとその他の一般車両情報などがこれに含まれます。これにより、ナビゲーションや音楽再生など、選択したアプリを最適に利用することができます。

その他のデータ処理の方式は、使用される各アプリのプロバイダーによって規定されます。可能な設定の範囲は、各アプリとモバイル端末機器のオペレーティングシステムにより異なります。

サービス

一般的な情報

車両が無線ネットワークを使用する場合、車両とその他のシステム間でのデータ交換が可能となります。無線ネットワークは、車両固有の送受信ユニットにより、または個人的に使用するスマートフォンなどのモバイル端末機器を介して実現されます。この無線ネットワークを介していわゆるオンライン機能を利用することができます。これには、車両メーカーまたは他のプロバイダーによって提供されるオンラインサービスやアプリが含まれます。

自動車メーカーのサービス

自動車メーカーのオンラインサービスの場合、各機能の説明は取扱説明書やメーカーのウェブページなど適切な箇所にあり

ます。そこには、関連するデータ保護法の情報も記載されています。オンラインサービスを利用する際には、個人に関するデータが使用されることがあります。データ交換は、例えば車両メーカーの専用 IT システムとの安全な接続を介して行われます。サービス提供の範囲を超える個人データの収集、処理、利用は、法律による許可、契約による取決め、または同意に基づいてのみ行われます。また、全てのデータ接続をオンまたはオフにすることもできます。法で定められた機能については除外されます。

他のプロバイダーのサービス

他のプロバイダーのオンラインサービスを利用する場合、これらのサービスはその都度該当するプロバイダーの責任ならびにデータ保護条件および利用条件の下で行われます。その際に交換される内容に対し、車両メーカーは何ら影響を与えません。第三者のサービス範囲における個人データの収集および処理の方法、範囲、目的についての情報は、該当するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

全体図

02

左側面	14
右側面	15
左コンビネーションスイッチ	16
右コンビネーションスイッチ	17
メーターパネル	18

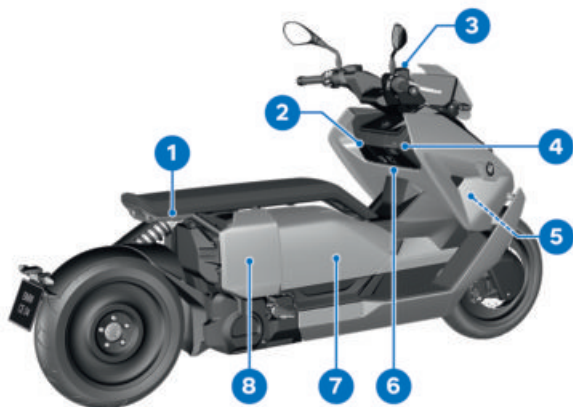
14 全体図

左側面



- 1 フロントフェアリングの後ろ：
診断コネクター (▶▶▶ 159)
光軸の調整 (▶▶▶ 98)
クーラントタンク (▶▶▶ 148)
ツールキット Torx T25
(▶▶▶ 145)
- 2 リヤブレーキ用ブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶ 147)
- 3 パッセンジャー用グリップ
- 4 スプリングストラットでのスプリングプリロードの調整 (▶▶▶ 99)

右側面



- | | |
|---|---|
| <p>1 パッセンジャー用グリップ</p> <p>2 ストレージコンパートメント (▶▶▶ 66)</p> <p>3 フロントブレーキ用ブレーキフルードタンク (▶▶▶ 147)</p> <p>4 充電コンパートメント (▶▶▶ 108)</p> <p>5 車両識別番号(メインフレームのフロント側右下) 型式プレート(ステアリングヘッドの右フロントフレーム)</p> <p>6 12 V ソケット</p> | <p>7 ヘルメット用コンパートメント (▶▶▶ 68)
スプリングプリロード用ツールキット (▶▶▶ 145)
積載荷重一覧(ヘルメットコンパートメントフラップの内側)
タイヤ空気圧表(ヘルメットコンパートメントフラップの内側)</p> <p>8 サイドフェアリングの後ろ：
バッテリー (▶▶▶ 153)
ヒューズ (▶▶▶ 157)</p> |
|---|---|

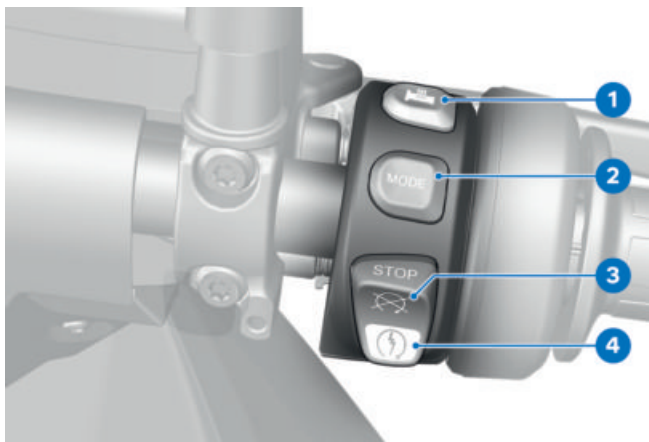
16 全体図

左コンビネーションスイッチ



- 1 ハイビームとパッシングライト (▶▶▶ 58)
- 2 ハザードランプ (▶▶▶ 60)
- 3 お気に入りボタン (▶▶▶ 79)
- 4 リバースユニット(RFH) (▶▶▶ 57)
- 5 ウィンカー (▶▶▶ 60)
- 6 ホーン
- 7 MENU ロッカースイッチ
- 8 マルチコントローラー
- 9 デイライト (▶▶▶ 59)

右コンビネーションスイッチ



- 1 ヒーター (▶▶▶▶ 65)
- 2 走行モード (▶▶▶▶ 62)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶▶ 56)
- 4 スターターボタン (▶▶▶▶ 123)

表示

03

インジケーター／警告灯	22
TFT ディスプレイ(PURE RIDE 画面)	23
TFT ディスプレイ(メニュー画面)	24
TFT ディスプレイ(充電画面)	25
警告表示	26

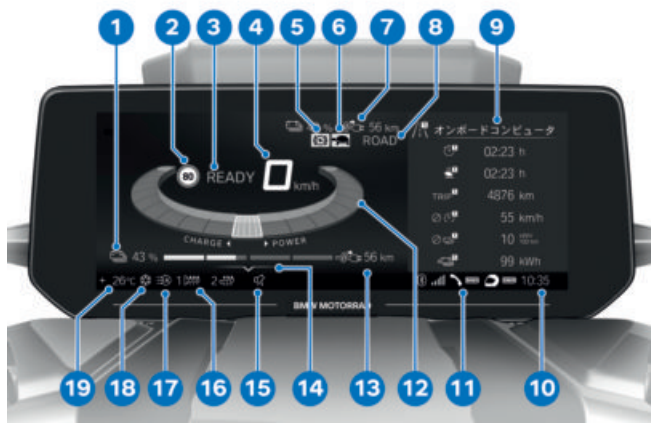
22 表示

インジケータ／警告灯



- 1 左側ウinker ( 60)
- 2 ハイビーム ( 58)
- 3 ジェネラル警告灯 ( 26)
- 4 右側ウinker ( 60)
- 5 駆動システム故障警告灯
駆動システムの故
障 ( 35)
- 6 ASC ( 41)
一走行モードPro^{OE} 装備
DTC ( 41)
- 7 ABS ( 47)
- 8 手動デイルイト ( 59)

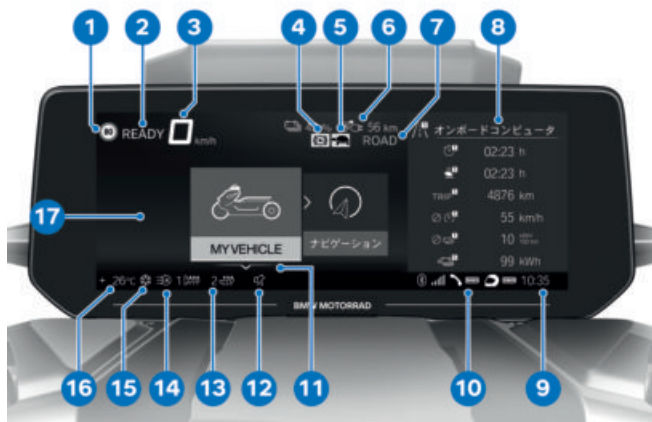
TFT ディスプレイ(PURE RIDE 画面)



- | | | | |
|----|---------------------------|----|-----------------------|
| 1 | バッテリー充電レベル (■■■ 80) | 13 | 航続可能距離 (■■■ 80) |
| 2 | Speed Limit Info (■■■ 78) | 14 | 操作サポート |
| 3 | 走行スタンバイ表示 (■■■ 123) | 15 | ミュートスイッチ (■■■ 81) |
| 4 | スピードメーター | 16 | ヒーター (■■■ 65) |
| 5 | 回生制限 (■■■ 79) | 17 | オートマチックデイルイト (■■■ 59) |
| 6 | 出力制限 (■■■ 79) | 18 | 外気温度警告 (■■■ 33) |
| 7 | ライダー情報ステータスバー (■■■ 77) | 19 | 外気温度 |
| 8 | 走行モード (■■■ 61) | | |
| 9 | スプリットスクリーン (■■■ 80) | | |
| 10 | 時計 (■■■ 82) | | |
| 11 | 接続ステータス (■■■ 84) | | |
| 12 | 駆動システム表示 (■■■ 79) | | |

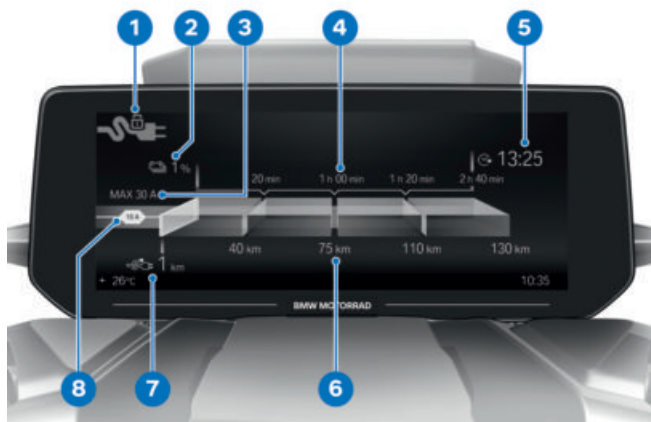
24 表示

TFT ディスプレイ(メニュー画面)



- | | | | |
|----|-----------------------------------|----|--------------------|
| 1 | Speed Limit Info (78) | 13 | ヒーター (65) |
| 2 | 走行スタンバイ表示
走行可能状態をオンにする (123)。 | 14 | オートマチックデिलイト (59) |
| 3 | スピードメーター | 15 | 外気温度警告 (33) |
| 4 | 回生制限 (79) | 16 | 外気温度 |
| 5 | 出力制限 (79) | 17 | メニューエリア |
| 6 | ライダー情報ステータス
バー (77) | | |
| 7 | 走行モード (61) | | |
| 8 | スプリットスクリー
ン (80) | | |
| 9 | 時計 (82) | | |
| 10 | 接続ステータス (84) | | |
| 11 | 操作サポート | | |
| 12 | ミュートスイッチ (81) | | |

TFT ディスプレイ(充電画面)



- 1 充電プラグステータス
- 2 充電レベル
- 3 使用可能な最大充電電流値
- 4 予想充電時間
- 5 100% 充電の目標時間
- 6 予想航続距離
- 7 航続可能距離
- 8 有効な充電電流制限

26 表示

警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。

警告はジェネラル警告灯と TFT ディスプレイのダイアログ画面の組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。

 ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。以降のページに警告表示の一覧があります。

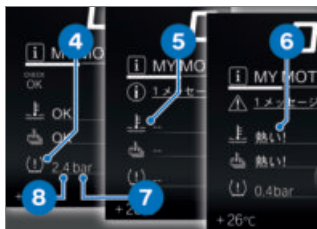


チェックコントロール表示

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：

- 緑色の CHECK OK **1**：メッセージなし、値は最適。
- 白い円と小さな「i」 **2**：情報。
- 黄色の三角表示 **3**：警告メッセージ、値が最適でない。

-赤色の三角表示 **3**：警告メッセージ、値が限界域



値の表示

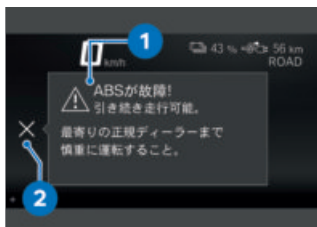
アイコン **4** には複数の異なる表示方法があります。評価に応じて異なる色が使用されます。数値 **8** と単位 **7** の代わりに、テキスト **6** も表示されます：

アイコンの色

- 緑：(OK) 現在の値は最適。
- 黄：(低い！ / 高い！) 現在の値は低すぎるか高すぎる。
- 赤：(熱い！ / 高い！) 現在の温度または値は高すぎる。
- 白：(---) 有効な値がない。値の代わりに線 **5** が表示されます。

 個々の値の評価の一部は、一定の走行時間または速度を超えて初めて可能になります。測定条件が満たされていないために測定値が表示可能になっていない場合は、値の代わりにプレースホルダーとして線が表示されます。有効な測定値が

ない間は、色付きアイコンの形式での評価も行われません。



チェックコントロールダイアログ画面

メッセージはチェックコントロールダイアログ画面 **1** として通知されます。

- 同じ優先度のチェックコントロールメッセージが複数ある場合、メッセージは発生した順序で切り替わりながら、了承確認するまで表示され続けます。
- アイコン **2** が有効表示されている場合、マルチコントローラーを左に傾けて了承確認することができます。
- チェックコントロールメッセージが、状況に合わせて、メニューMy Motorcycle のページに追加タブとして付加されます (75)。故障が存在している間は、メッセージを再度呼び出すことができます。

28 表示

警告表示一覧

インジケーター／ディスプレイテキスト

警告灯

意味

	黄色で点灯する。		が表示されます。	EWS ON (▶▶▶ 33)
			が表示されます。	外気温度警告 (▶▶▶ 33)
	黄色で点灯する。		不具合のあるバルブが表示されます。	ライトバルブの故障 (▶▶▶ 33)
	黄色で点灯する。		ライトコントロールが故障！	ライトコントロールの故障 (▶▶▶ 34)
			DWA バッテリーが弱い。	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 35)
			盗難防止用バッテリーが放電状態。	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 35)
			DWA が故障。	DWA が故障している (▶▶▶ 35)
	点灯します。		エンジン！	駆動システムの故障 (▶▶▶ 35)
	赤色で点滅する。		エンジン制御内に深刻な故障！	駆動システムの重大な故障 (▶▶▶ 36)
	点滅します。			
	黄色で点灯する。		駆動エレクトロニクスとの通信なし。	エレクトロニクスとの通信エラー (▶▶▶ 36)
	点灯します。			
	黄色で点灯する。		高電圧システム内絶縁エラー。	ハイボルテージシステム内の絶縁不良 (▶▶▶ 36)

インジケーター／ ディスプレイテキスト 警告灯

意味

	赤色で点灯する。		高電圧システム内絶縁エラー。	ハイボルテージシステム内の重大な絶縁不良 (▶▶▶ 36)
	黄色で点灯する。		充填レベルが限界域。	充電レベルが限界値にある (▶▶▶ 37)
			点灯します。	
	黄色で点灯する。		電気駆動システムの不具合：出力低下。	Eドライブ内の不具合：出力が低減されている (▶▶▶ 37)
			点灯します。	
	黄色で点灯する。		電気駆動システム内の不具合。	ハイボルテージシステムの ON / OFF ができない (▶▶▶ 37)
	黄色で点灯する。		電気駆動システムの故障	電気駆動の故障 (▶▶▶ 38)
	黄色で点灯する。		コネクタロックに異常がある。	コネクタロックが阻害されている (▶▶▶ 38)
	赤色で点滅する。		電気駆動システムに重大な不具合！	電気駆動システム内の重大な不具合 (▶▶▶ 38)
	黄色で点灯する。		駆動システムの異常高温：出力の低減。	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶ 38)
	黄色で点灯する。		充電中断充電システムが過熱。	充電システムが過熱している (▶▶▶ 39)

30 表示

インジケーター／ディスプレイテキスト 警告灯

意味

	黄色で点灯する。		エネルギー回生の制限。	エネルギー回生が制限されている (▶▶▶ 39)
			点灯します。	
	黄色で点灯する。		高電圧安全コネクタが接続されていない。	ハイボルテージ安全コネクタが切り離されている (▶▶▶ 39)
			目標充電量に達していない。充電容量の減少	充電容量の低減 (▶▶▶ 39)
	黄色で点灯する。		充電インフラの故障。	充電用インフラストラクチャー内の不具合 (▶▶▶ 40)
	黄色で点灯する。		充電システムの故障。	充電システムの不具合 (▶▶▶ 40)
	黄色で点灯する。		車両電装システムバッテリーの状態。	車両電装バッテリーステータス(12 V バッテリー) (▶▶▶ 41)
	黄色で点灯する。		が黄色で表示されます。	ボードエレクトリック電源電圧が低い (▶▶▶ 41)
			バッテリー電圧！	
	黄色で点灯する。		が黄色で表示されます。	車両電装システム電圧が限界値 (▶▶▶ 41)
			バッテリー電圧が低下している！	
	素早く点滅します。			ASC/DTC の介入 (▶▶▶ 41)

インジケーター／ ディスプレイテキスト 警告灯

意味

	点灯します。		駆動制御の機能を制限している！	ASC/DTC の使用に制限 (▶▶▶ 42)
	黄色で点灯する。		トラクション制御システム故障！	ASC/DTC が故障している (▶▶▶ 42)
	点灯します。			
	黄色で点灯する。		が黄色で表示されます。	チャージ圧が許容制限領域にある (▶▶▶ 43)
			タイヤ空気圧が規定値ではない。	
	赤色で点滅する。		が赤で表示されます。	チャージ圧が許容範囲外にある (▶▶▶ 44)
			タイヤ空気圧が規定値ではない。	
			タイヤ空気圧モニター。空気圧の損失。	
			"---"	伝送障害 (▶▶▶ 45)
	黄色で点灯する。		"---"	センサー故障またはシステムエラー (▶▶▶ 45)
	黄色で点灯する。		RDC バッテリーセンサーが弱い。	チャージ圧センサーのバッテリーが弱っている (▶▶▶ 45)
	黄色で点灯する。		タイヤ空気圧モニターが故障！	タイヤ空気圧コントロール(RDC)が故障している (▶▶▶ 46)

32 表示

インジケーター／ディスプレイテキスト 警告灯

意味

	黄色で点灯する。		サイドスタンドモニターの故障。	サイドスタンドモニター故障 (▶▶▶ 46)
	点滅します。			ABS 自己診断が終了していない (▶▶▶ 46)
	黄色で点灯する。		ABS は制限付きで使用可能！	ABS の故障 (▶▶▶ 47)
	点灯します。			
	黄色で点灯する。		ABS が故障！	ABS 機能停止 (▶▶▶ 47)
	点灯します。			
	点灯します。		ABS Pro が故障！	ABS Pro 機能停止 (▶▶▶ 47)
			が白で表示されません。	サービス期限 (▶▶▶ 48)
			サービス実施時期！	
	黄色で点灯する。		が黄色で表示されません。	サービス時期を過ぎている (▶▶▶ 48)
			サービス時期超過！	

EWS ON

黄色で点灯する。



が表示されます。

考えられる原因：

使用された車両キーに始動権限がないか、車両キーとモーターエレクトロニクス間の通信に障害が発生しています。

- キーストラップに取り付けられている他の車両キーを取り外します。
- 2 番目の車両キーを使用します。
- 故障している無線キーは、BMW Motorrad ディーラーで交換してください。

外気温度

外気温度は TFT ディスプレイのステータスバーに表示されます。

停車している時には、エンジン（モーター）放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン（モーター）放射熱の影響が著しい場合には、値の代わりに横線が一時的に表示されます。



外気温度が約 3 °C の限界値未満になると、路面が凍結するおそれがあります。

この温度を下回ると、TFT ディスプレイのステータスバーで外気

温度表示が氷結晶アイコンとともに点滅します。

外気温度警告

が表示されます。

考えられる原因：



モーターサイクル付近で測定された外気温度 <

約 3 °C



警告

約 3 °C を超えている場合でも、路面が凍結している危険事故の危険

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。

- よく注意して走行してください。

ライトバルブの故障

黄色で点灯する。



不具合のあるバルブが表示されます：



ハイビームが故障！



左フロントウインカーが故障！ または右フロントウインカーが故障！

34 表示



ロービームが故障！



フロントポジションが故障！

—デイトタイムランニングライト 0E 装備



デイライトが故障！ <



テールライトが故障！



ブレーキライトが故障！



左リヤウインカーが故障！
または右リヤウインカーが故障！



ライセンスプレートライトが故障！

—正規ディーラーに点検を依頼すること。



警告

車両の照明手段の機能停止により、車両が通行中に気付かずに見過ごされる

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。

考えられる原因:

1 個または複数のバルブが故障しています。

- 目視点検を行い、故障したバルブを検出します。
- LED バルブをアセンブリーで交換します。その交換はBMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に依頼してください。

ライトコントロールの故障



黄色で点灯する。



ライトコントロールが故障！ 正規ディーラーに点検を依頼すること。



警告

市街地走行中にモーターサイクルが車両照明の故障によって見過ごされる

安全に関わる危険

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

ライトコントロールが通信エラーを診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

DWA バッテリーが弱っている-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

 DWA バッテリーが弱い。制約なし。正規ディーラーへ予約を入れること。

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

●BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

 盗難防止用バッテリーが放電状態。独自のアラームなし。正規ディーラーへ予約を入れること。

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

●BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA が故障している

 DWA が故障。正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

DWA コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

●BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

» DWA が ON にならない、または OFF にならなくなっている。
» 誤警報の可能性あります。

駆動システムの故障

 点灯します。

 エンジン! 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

エンジン(モーター) コントロールユニットで故障が診断で検出されました。

●BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

» 走行を続行することは可能です。

36 表示

駆動システムの重大な故障



赤色で点滅する。



点滅します。



エンジン制御内に深刻な故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因：

エンジン(モーター) マネジメントシステムで、駆動コンポーネントの損傷に至るおそれのある故障が診断で検出されました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

» 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

電気リカルマシンエレクトロニクスの通信エラー



黄色で点灯する。



点灯します。



駆動エレクトロニクスとの通信なし。複数システムが該当。専門整備工場て要点検。

考えられる原因：

エレクトリカルマシンエレクトロニクスで通信エラーが診断で検出されました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ハイボルテージシステム内の絶縁不良



黄色で点灯する。



高電圧システム内絶縁エラー。ある程度の継続走行は可能。最寄のワークショップまで注意して走行すること。

考えられる原因：

絶縁エラーが検知されました。ハイボルテージケーブルまたはハイボルテージコンポーネントが損傷しました。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ハイボルテージシステム内の重大な絶縁不良



赤色で点灯する。



高電圧システム内絶縁エラー。エンジン停止後のエンジン再始動不可。直ちにワークショップへ。

考えられる原因:

重大な絶縁エラーが検知されました。ハイボルテージケーブルまたはハイボルテージコンポーネントが損傷しました。走行の終了後、車両を再始動させることはできません。車両に損傷が生じているおそれがあります。

- ただちに、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

充電レベルが限界値にある



黄色で点灯する。



充填レベルが限界域。出力低下。充電ステーションに行くこと。



点灯します。



警告

電気駆動のエマージェンシーモード時の通常と異なる走行特性

事故の危険

- 急激な加速や追い越しは避けてください。

Eドライブ内の不具合：出力が低減されている



黄色で点灯する。



電気駆動システムの不具合：出力低下。ある程度の継続走行は可能。最寄のワークショップまで注意して走行すること。



点灯します。



警告

電気駆動のエマージェンシーモード時の通常と異なる走行特性

事故の危険

- 急激な加速や追い越しは避けてください。

BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ハイボルテージシステムの ON / OFF ができない



黄色で点灯する。



電気駆動システム内の不具合。専門整備工場で要点検。

考えられる原因:

ハイボルテージシステムを ON または OFF にすることができません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

38 表示

電気駆動の故障



黄色で点灯する。



電気駆動システムの故障より緩やかな走行は可。最寄の専門の整備工場まで慎重に走行すること。

BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

コネクタロックが阻害されている



黄色で点灯する。



コネクタロックに異常がある。ケーブルを再度差し込む。再発生時には、専門の整備工場に連絡。

考えられる原因:

充電ケーブルをロック解除できません

- 充電プラグの緊急ロック解除 (▶▶▶ 113)。

考えられる原因:

充電ケーブルをロックすることができません。

- ケーブルを完全に差し込みます。
- この不具合がまだ存在するようでしたら、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

電気駆動システム内の重大な不具合



赤色で点滅する。



電気駆動システムに重大な不具合! 直ちに停車! 専門整備工場で要点検。

考えられる原因:

電気駆動システム内で重大な不具合が検知されました。不規則な走行特性が生じるおそれがあります。走行を続行すると、車両の損傷を招くおそれがあります。

- 直ちに停車してください。
- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

クーラント温度が高すぎる



黄色で点灯する。



駆動システムの異常高温: 出力の低減。より緩やかな走行は可。

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検する (▶▶▶ 148)。
- クーラントレベルが低すぎる場合:
 - 駆動システムと冷却システムを冷まします。
 - クーラントを補充する (▶▶▶ 149)。

- 繰り返し発生する場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に冷却システムの点検を依頼してください。

考えられる原因:

駆動システムまたは冷却システムで高温が検知されました。

- 可能であれば、駆動システムを冷ますためにパーシャルロード域で走行します。
- 冷却システムの温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早く BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。

充電システムが過熱している



黄色で点灯する。



充電中断充電システムが過熱。冷却水レベルを点検すること。再発時には専門整備工場で要点検。

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検する (▶▶ 148)。

クーラントレベルが低すぎる場合:

- 駆動システムと冷却システムを冷まします。

- クーラントを補充する (▶▶ 149)。

- 繰り返し発生する場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に冷却システムの点検を依頼してください。

エネルギー回生が制限されている



黄色で点灯する。



エネルギー回生の制限。より緩やかな走行は可。慎重に最寄の専門整備工場まで走行すること。



点灯します。

BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ハイボルテージ安全コネクタが切り離されている



黄色で点灯する。



高電圧安全コネクタが接続されていない。車両の始動不可。専門整備工場で要点検。

BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

充電容量の低減



目標充電量に達していない。充電容量の減少 充電状態を点検。詳細は取扱説明書を参照。

40 表示

考えられる原因:

この車両はフル容量で充電されていません。

- 温度、充電用インフラストラクチャー、充電ケーブルを点検します。

考えられる原因:

充電プロセスが 90 % を下回る充電レベルで中断されました。

- 充電レベルを点検します。

充電用インフラストラクチャー内の不具合



黄色で点灯する。



充電インフラの故障。充電ケーブルと電源接続部を点検するか、または他の電源接続部を使用します。

考えられる原因:

充電用インフラストラクチャー内の不具合により、充電プロセスの中断に至ったか、充電プロセスを開始することができませんでした。

- 充電ケーブルおよび電源コネクタを点検し、必要に応じて他の電源コネクタを使用します。

充電システムの不具合



黄色で点灯する。



充電システムの故障。充電できません。慎重に最寄の専門整備工場まで走行してください。

考えられる原因:

車両内の不具合により、充電プロセスの中断に至ったか、充電プロセスを開始することができませんでした。DC/DC コンバーターが故障しています。

- 作動スタンバイを ON にします。
- 充電ケーブルを抜き取ります。
- 2 分間待ちます。
- » 車両は ON の状態です。
- 作動スタンバイを OFF にします。
- 充電ケーブルを差し込みます。
- » 再充電の試行が開始されます。
- 再度発生する場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

考えられる原因:

走行中に不具合が発生した場合: DC/DC コンバーターが故障しており、12 V バッテリーに追加充電することができません。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。
- » バッテリーが完全に放電するまで走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

車両電装バッテリーステータス (12 V バッテリー)

 黄色で点灯する。

 車両電装システムバッテリーの状態。制限なし。専門整備工場にて要点検。

考えられる原因：

車両電装バッテリーは電圧を維持できなくなっています。できるだけ早く交換してください。

●BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ボードエレクトリック電源電圧 が低い

 黄色で点灯する。

 が黄色で表示されます。

 バッテリー電圧！ 不要な電力消費機器をOFF にする。

考えられる原因：

オンにされた電装品が多すぎます。

●12 V バッテリーを充電する (▶▶ 154)。

12 V バッテリーが完全に充電されない場合：

●BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

車両電装システム電圧が限界値

 黄色で点灯する。

 が黄色で表示されます。

 バッテリー電圧が低下している！ 電力消費機器がOFF になった。バッテリーを点検すること。またはバッテリー充電不可。バッテリーレベルを点検すること。

12 V バッテリーの電圧が不足しているため、すべての電装品には電源を供給できません。

考えられる原因：

オンにされた電装品が多すぎます。

●12 V バッテリーを充電する (▶▶ 154)。

12 V バッテリーが完全に充電されない場合：

●BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ASC/DTC の介入

 素早く点滅します。

ASC/DTC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。インジケーター／警告灯は、ASC/DTC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨

42 表示

のフィードバック表示を目にすることができます。

ASC/DTC の使用に制限



点灯します。



駆動制御の機能を制限している！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因：

ASC/DTC コントロールユニットが故障を検知しました。

- ASC/DTC 機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC の故障につながる可能性のある状況についての継続情報をご確認ください (▶▶▶ 135)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ASC/DTC が故障している



黄色で点灯する。



点灯します。



トラクション制御システム故障！ より緩やかな走行は可。次の専門修理工場まで慎重に走行すること。

考えられる原因：

ASC/DTC コントロールユニットが故障を検知しました。

- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- ASC/DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC の故障につながる可能性のある状況についての継続情報をご確認ください (▶▶▶ 135)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

タイヤ空気圧

—タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{0E} 装備

タイヤ空気圧の表示は、メニュー画面MY MOTORCYCLE およびチェックコントロールメッセージの他に、画面タイヤ空気圧 でも行われます：



左の値はフロントホイール、右の値はリアホイールのものです。タイヤ空気圧の規定値と実測値に基づいて圧力差が表示されます。

作動スタンバイを ON にした直後は、横線のみが表示されます。タイヤ空気圧値の伝送は、以下の最低速度を初めて超過した後に開始されます：



RDC センサーは OFF

min 30 km/h (最低速度を超えるまで、RDC センサーは車両に信号を送信しません。)



タイヤ空気圧は TFT ディスプレイに温度補正されて表示され、常に以下のタイヤ内の空気温度の場合の値となります：

20 °C



さらにタイヤのアイコンが黄色または赤色で表示される場合は、警告です。圧力差は同様に色付きのエクスクラメー

ションマーク (!) で強調されます。



該当する値が許容限界域にある場合には、さらにジェネラル警告灯(黄)が点灯します。



測定されたタイヤ空気圧が許容範囲外にある場合は、ジェネラル警告灯(赤)が点滅します。

BMW Motorrad RDC に関する詳細情報については「技術情報」の章 ((139) ページ以降) を参照してください。

チャージ圧が許容制限領域にある

ータイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備



黄色で点灯する。



が黄色で表示されます。



タイヤ空気圧が規定値ではない。タイヤ空気圧を点検すること。

考えられる原因：

測定されたタイヤ空気圧が許容限界域にあります。

- タイヤ充填圧を調整します。
- タイヤ空気圧の調整を行う前に、温度補正および空気圧調整

44 表示

に関する情報を「技術情報」の章で確認し、遵守してください：

- » 温度補正 (▶▶▶ 140)
- » 充填圧の調整 (▶▶▶ 140)
- » 規定タイヤ空気圧は、以下の箇所に記載されています：
- Rider's Manual の裏表紙面
- メーターパネル(タイヤ空気圧 画面)
- 注意書はヘルメットコンパートメントフラップの内側

チャージ圧が許容範囲外にある

- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備



赤色で点滅する。



が赤で表示されます。



タイヤ空気圧が規定値ではない。直ちに停車！ タイヤ空気圧を点検すること。



タイヤ空気圧モニター。空気圧の損失。直ちに停車！ タイヤ空気圧を点検すること。



警告

タイヤ空気圧が許容範囲外にある。

事故の危険、車両の走行特性の悪化。

- ドライビングスタイルを状況に合わせます。

考えられる原因：

測定されたタイヤ空気圧が許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷していないか、走行に適した状態かを点検します。

タイヤがまだ走行できる状態の場合：

- できるだけ早く、タイヤ空気圧を修正します。
- タイヤ空気圧の調整を行う前に、温度補正および空気圧調整に関する情報を「技術情報」の章で確認し、遵守してください：

» 温度補正 (▶▶▶ 140)

» 充填圧の調整 (▶▶▶ 140)

» 規定タイヤ空気圧は、以下の箇所に記載されています：

- Rider's Manual の裏表紙面

- メーターパネル(タイヤ空気圧 画面)

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の修理工場に、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。

タイヤの走行可能性が確実にない場合：

- 走行を続けしないでください。
- エマージェンシーサービスに知らせます。

伝送障害

－タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE}
装備



"----"

考えられる原因:

車両が最低速度に達しませんでした (139)。



RDC センサーは OFF

min 30 km/h (最低速度を超えるまで、RDC センサーは車両に信号を送信しません。)

- より高速での走行時に RDC 表示を点検します。



さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があります。このような場合には、

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

RDC センサーへの無線接続に障害が発生しています。周辺に RDC コントロールユニットとセンサー間の接続を妨害する無線技術システムがあります。

- RDC 表示を、別の環境／状況で点検します。



さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があります。このような場合には、

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

センサー故障またはシステムエラー

－タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE}
装備



黄色で点灯する。



"----"

考えられる原因:

RDC センサー非装備のホイールが装着されています。

- RDC センサー付きホイールセットを後付けします。

考えられる原因:

1つまたは2つの RDC センサーが故障しているか、またはシステムエラーが発生しています。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

チャージ圧センサーのバッテリーが弱っている

－タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE}
装備



黄色で点灯する。



RDC バッテリーセンサーが弱い。機能が制限されている。正規ディーラーに依頼すること。

46 表示

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check（走行前点検）の直後にのみ表示されます。

考えられる原因：

タイヤ空気圧センサーのバッテリーがフル充電になっていません。タイヤ空気圧コントロールの機能が保証されるのは、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)が故障している

-タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

 黄色で点灯する。

 タイヤ空気圧モニターが故障！ 機能が制限されている。正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因：

RDC コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
- » タイヤ空気圧警告を使用不可。

サイドスタンドモニター故障

 黄色で点灯する。

 サイドスタンドモニター
の故障。低速走行時にエンジン停止。専門修理工場で要点検。

考えられる原因：

サイドスタンドスイッチまたはその配線が損傷しています。このエレクトリカルマシンは 5 km/h を下回ると停止し、走行を続けることができなくなります。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していない

 点滅します。

考えられる原因：

 ABS 自己診断が完了していません

自己診断が完了していないため、ABS 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、E-Scooter が最低速度に達する必要があります：min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が完了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS の故障



黄色で点灯する。



点灯します。



ABS は制限付きで使用可能！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因：

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は制限付きで使用可能です。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況についての詳細情報をご確認ください (133)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS 機能停止



黄色で点灯する。



点灯します。



ABS が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの専門の整備工場まで慎重に運転すること。

考えられる原因：

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況についての詳細情報をご確認ください (133)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS Pro 機能停止

一走行モード Pro^{OE} 装備



点灯します。



ABS Pro が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因：

ABS Pro コントロールユニットが故障を検知しました。ABS Pro 機能は使用できません。ABS 機能は引き続き使用可能です。ABS は直進走行でのブレーキでのみサポートを行います。

- 走行を続行することは可能です。ABS Pro エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関する継続情報をご確認ください (133)。

48 表示

- BMW Motorrad ディーラー(最適)
または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

サービス表示

 サービス時期を過ぎた場合には、日付表示または走行距離に加えてジェネラル警告灯(黄)が点灯します。

サービス時期を過ぎた場合、チェックコントロールメッセージが黄色で表示されます。さらに、サービス、サービス時期、残余走行距離が、メニュー画面MY MOTORCYCLE およびサービス実施時期にエクスクラメーションマーク(!)付きで強調表示されます。

 サービス期日まで1カ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、実際に即した日付に再度調整する必要があります。この症状は、バッテリーの接続が切られた場合に発生することがあります。

サービス期限

 が白で表示されます。

サービス実施時期！ 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因:

走行距離または日付に基づくサービスの実施時期が来ています。

- サービスを定期的に
にBMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場を受けてください。
 - » 車両の作動確実性および走行安全性が維持されます。
 - » 車両価値の最適な維持が保証されます。

サービス時期を過ぎている

 黄色で点灯する。

 が黄色で表示されます。

サービス時期超過！ 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因:

走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。

- サービスを定期的に
にBMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場を受けてください。
 - » 車両の作動確実性および走行安全性が維持されます。
 - » 車両価値の最適な維持が保証されます。

取扱方法

04

作動可能状態サドウカノウジョウタイ	52
イグニッションキルスイッチ	56
後退走行	57
ライト	58
デイルイト	59
ハザードランプ	60
ウインカー	60
走行モード	61
盗難警報装置(DWA)	62
タイヤ空気圧コントロール(RDC)	65
ヒーター	65
ストレージコンパートメント	66
ヘルメット用コンパートメント	68

52 取扱方法

作動可能状態サドウカノウジョウタイ

キー

 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。

無線キーまたは予備キーが検出された場合は消えます。

無線キーまたは予備キーが認識されない場合は、一時的に点灯します。

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー 1 本です。キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー(EWS)に関する注意事項に従ってください (■▶ 54)。

作動スタンバイおよび盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。ストレージコンパートメントロックおよびトップケースは手動で操作することができます。

 無線キーが通信有効範囲にないと(ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。

無線キーがない状態が続くと、バッテリーを保護するため、約 1.5 分後に作動スタンバイが OFF になります。

無線キーを身に着けておく(ジャケットのポケットなど)か、または予備キーを携行することをお勧めします。

 Keyless Ride の走行可能距離無線キー

約 1 m

ステアリングロックをロックする

前提条件

ハンドルバーを左方向へ回します。無線キーは受信範囲内です。



- ボタン **1** を押し続けます。
 - » ステアリングロックが音をたててロックします。
 - » 作動スタンバイ、ライト、すべての機能回路が OFF の状態です。
- ステアリングロックをロック解除するには、ボタン **1** を短く押します。

作動可能状態をオンにする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- 作動スタンバイ ON は2 通りの方法で行うことができます。

バリエーション 1:

- ボタン 1 を短押しします。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- デイトタイムランニングライト ^{OE} 装備

- » デイライトは ON の状態です。◁
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 120)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 121)

バリエーション 2:

- ステアリングロックがロックされている状態で、ボタン 1 を押したまま保ちます。
- » ステアリングロックがロック解除されます。
- » ポジション／パーキングライトとすべての機能回路が ON になります。
- デイトタイムランニングライト ^{OE} 装備
- » デイライトは ON の状態です。◁

- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 120)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 121)

作動可能状態をオフにする 前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- 作動スタンバイ OFF は2 通りの方法で行うことができます。

バリエーション 1:

- ボタン 1 を短押しします。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除されます。

バリエーション 2:

- ハンドルを左に回します。
- ボタン 1 を押し続けます。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。

54 取扱方法

電子式イモビライザーEWS

モーターサイクルの電子制御システムは、無線ロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを認識します。キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジン(モーター)コントロールユニットが走行スタンバイを許可します。

 その他の無線キー(スペアキーなど)が始動に使用されている無線キーと一緒に取り付けられていると、電子システムが「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。無線キーは必ず別々に保管してください。

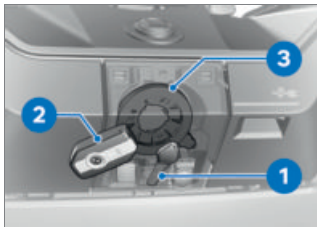
車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンやモーターを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

スペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーでは

お渡しする方の身元を確認させていただきます。

無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失



- キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー(EWS)に関する注意事項に従ってください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。
- 無線キーのバッテリーが空になっている場合には、ストレージコンパートメントフラップと充電コンパートメントフラップ間のカバーに無線キーを接触させることにより車両を始動させることができます。
- スペアキー **1** または空の無線キー **2** をストレージコンパートメントフラップと充電コンパートメントフラップ間のカバーのところでアンテナ **3** の高さにして保持します。



走行スタンバイを確立
することができる時間。
その後、再度ロック解除を行う
必要があります。

30 s

- » Pre-Ride-Check が実行されま
す。
-無線キーが検知されました。
-エレクトリカルマシンを始動さ
せることができます。

無線キーのバッテリーを交換す る

ボタンを短押ししても長押しし
ても、無線キーが反応しない：

- 無線キーのバッテリー容量が充
分ではありません。



無線キーバッテリーが弱
い。集中ロック機能が制限
されている。バッテリーを交換
すること。

⚠ 危険

バッテリーを飲み込んだ場合
負傷のおそれや生命にかかわ
る危険

- 車両キーにはバッテリーとし
てボタン電池が含まれていま
す。バッテリーまたはボタン
電池が飲み込まれると、体内
の炎症や化学熱傷などによ
り、2 時間以内に重態に陥っ
たり、致命傷を負うことにな
るおそれがあります。
- 車両キーおよびバッテリー
は、お子様の手の届かないと
ころに保管してください。
- バッテリーやボタン電池を飲
み込んだ疑いや、それらが体
内にある疑いがある場合に
は、直ちに医師に連絡してく
ださい。

- バッテリーを交換します。



- ボタン **1** を押します。
» キーが開きます。

56 取扱方法

- バッテリーカバー 2 を押し上げます。
- バッテリー 3 を取り外します。
- 使用済みバッテリーは法規に従って廃棄処分してください。バッテリーを家庭ごみとして捨てないでください。



重要事項

不適切なバッテリー、または入れ方が正しくないバッテリーコンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してください。
 - バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。
- 新しいバッテリーをプラスターミナルを上にして組み込みます。



バッテリータイプ

Keyless Ride 無線キー

CR 2032

- バッテリーカバー 2 を取り付けます。
- » メーターパネルで LED (赤) が点滅します。
- » 無線キーは再び機能することができます。

イグニッションキルスイッチ



1 イグニッションキルスイッチ

イグニッションキルスイッチ 1 により、電気駆動システムを素早く OFF にすることができます。



A 電気駆動システムは OFF の状態

B E-Scooter 作動スタンバイ

後退走行

後退走行を操作する



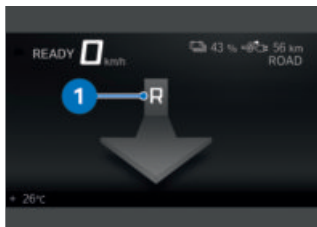
警告

電気走行における知覚の悪化。
事故の危険

- 電気走行時には、エンジン音がないため通行人およびその他の通行車両がE-Scooterを従来の車両のように知覚できません。
 - 特に注意して走行してください。
- 走行可能状態をオンにする (▶▶ 123)。



- 後退走行の間中、ボタン **1** を押したまま保ちます。



- 承認は、ディスプレイは下向き矢印マーク付きのR **1** で示されます。
 - 慎重にEスロットルグリップを操作し、後退します。
- » E-Scooter は最大 3 km/h で後退します。



- 後退走行中、矢印マーク **1** は点灯しています。

58 取扱方法

ライト

ロービームおよびポジションライト／パーキングライト

E-Scooter が作動可能な状態になると同時に、パーキングライトが自動的にオンになります。その後、パーキングライトはさらに短時間点灯し続けます。

E-Scooter が走行可能な状態になると同時に、ロービームが自動的にオンになります。

ーデイトムランニングライト 0E 装備

あるいは、昼間はロービームの代わりにデイトライトを ON にすることもできます。

ハイビームとパッシングライト

- 作動可能状態をオンにする (➡ 52)。



- スイッチ 1 を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ 1 を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォローミーホームライト

- イグニッションを OFF にします。



- 作動スタンバイを OFF にした直後、スイッチ 1 を後方へ引き、フォローミーホームライトが点灯するまで引いたまま保持します。
- » 車両照明が 1 分間点灯し、自動的に再び消灯します。
- ーこれは、駐車後に家のドアまでの通路を照らすためなどに使用することができます。

パーキングライト

- 作動可能状態をオフにする (➡ 53)。



- 作動スタンバイを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン 1 を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするには、作動スタンバイを ON にしてから再び OFF にします。

デイルイト

—デイトタイムランニングライト 0E 装備

デイルイトを操作する

- 走行可能状態をオンにする (123)。



- デイトタイムランニングライトをオンにし、ロービームをオフに

するには、ボタン 1 を操作します。

 デイルイトのアイコンが表示されます。

- 暗闇またはトンネル内で：ボタン 1 を再度操作すると、デイルイトが OFF に、ロービームが ON になります。

 デイルイトは、ロービームに比べて対向車からの視認性に優れています。それにより、昼間の視認性が向上します。

オートマチックデイルイト

 デイルイトとロービームの切り替え(ポジション/パーキングライトを含む)は自動で行われます。

警告

オートマチックデイルイトは照明状況について自身で下す判断に代わるものではない事故が起こる危険

- 照明状況がよくない場合には、オートマチックデイルイトを OFF にします。

- メニュー設定、車両設定、ライトで、機能オートマチックデイルイトを ON にします。

 自動デイルイトのインジケーターが点灯します。

» 周囲輝度が特定の値を下回ると、自動的にロービームが ON に

60 取扱方法

なります（例えば、トンネルの中）。十分な周囲輝度が検知されると、デイルイトは再度 ON になります。

 デイルイトが ON の場合には、デイルイト用インジケーターが点灯します。

ライトが自動で ON になった場合の手動操作

デイルイトボタンを押すとデイルイトがオフになり、ロービームおよびフロントパーキングライトがオンになります（トンネルに入る際に、周囲の明るさが原因でオートマチックデイルイトの反応が遅延する場合など）。デイルイトスイッチを再度操作すると、オートマチックデイルイトは再び ON になります。つまり、周囲の明るさが必要なレベルに到達すると、デイルイトは再び ON になります。

ハザードランプ

ハザードランプを操作する

- 作動可能状態をオンにする（ 52）。

 ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようにしてください。

 ハザードランプが ON の状態で片方のウインカースイッチを押すと、押している間はハザードランプ機能に代わってウインカー機能が作動します。ウインカースイッチを押すのをやめると、再びハザードランプ機能が作動します。



- ボタン **1** を押して、ハザードライトをオンにします。
» 作動可能状態はオフにすることができます。
- 作動スタンバイを ON にしてボタン **1** を再度押すと、ハザードランプは OFF になります。

ウインカー

ウインカーを操作する

- 作動可能状態をオンにする（ 52）。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン 1 を左方向へ押します。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン 1 を右方向へ押します。
- ボタン 1 を中央位置にすると、ウインカーが OFF になります。

コンフォートターンインジケータ



ボタン 1 を右または左に押すと、以下の条件ではターンインジケータが自動的にオフになります：

- 車速 30 km/h 未満：50 m の走行距離後。
- 車速 30 km/h ~ 100 km/h：速度に応じた走行距離後または加速時。
- 車速 100 km/h 超：5 回点減後。

ボタン 1 を少し長く右または左に押しても、速度に応じた走行距離到達後にターンインジケータは自動的にオフになります。

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、E-Scooter モーターサイクルの使用についてのシナリオを作成しました：

- ECO: 航続可能距離が最適化された走行。
- RAIN: 雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD: 乾いた路面でのライディング。
- 走行モード Pro^{OE} 装備
- DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行。

これらのシナリオでは、エンジン（モーター）特性曲線、ASC/DTC 制御、回生スタビリティコントロール(RSC) による最適な相互作用がそれぞれ用意されています。

62 取扱方法

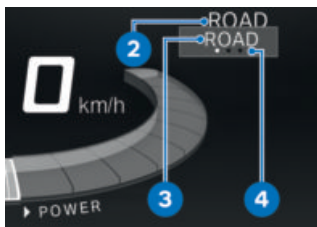
走行モードを設定する

- 作動可能状態をオンにする (▶▶ 52)。



- ボタン 1 を押します。

 選択可能な走行モードの詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。



現在有効な走行モード 2 はバックグラウンドに移動し、選択可能な最初の走行モード 3 が表示されます。ガイドサポート 4 に、利用可能な走行モード数が表示されます。



- 選択矢印の横に希望する走行モードが表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し押します。
» 選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。

盗難警報装置(DWA)

—盗難防止装置 (DWA) ^{OE} 装備

作動

- 作動可能状態をオンにする (▶▶ 52)。
- DWA を調整する (▶▶ 65)。



- 作動スタンバイを OFF にします。
- 無線キーのボタン 1 を 2 回押します。

- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA は ON の状態です。



- 傾斜センサーを作動解除するため(E-Scooter が牽引搬送される際に、激しい動きがアラーム発報の引き金になりうるため)、無線キーのボタン **1** を、起動フェーズにある間に再度操作します。
- » ウィンカーが 3 回点灯します。
- » 確認音が 3 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » 傾斜センサーは作動解除されています。

アラーム信号

DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- 傾斜センサー
- 不正な車両キーによる始動の試み。
- DWA の接続の車両バッテリーからの切り離し(DWA バッテリーが電源供給を行う。アラーム音のみ、ウィンカーの点灯なし)

 無線キーが受信範囲内にあるときには、傾斜センサーによるアラームが抑えられます。

DWA バッテリーが放電している場合には、車両バッテリーから接続が切り離されている場合に行われるアラームの発報ができなくなる以外は、全機能が保持されています。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウィンカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。

64 取扱方法



発報しているアラームは、無線キーのボタン **1** を押すことで中断できます(DWA の作動解除不要)。

ライダーが不在の間にアラームが作動していた場合には、作動スタンバイを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

インジケーター／警告灯のライト信号：

- 1 回点滅：傾斜センサー 1
- 2 回点滅：傾斜センサー 2
- 3 回点滅：権限のない車両キーによって作動スタンバイが ON にされた
- 4 回点滅：DWA の車両バッテリーからの切り離し
- 5 回点滅：傾斜センサー 3

作動解除

バリエーション 1：

- イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。
- 作動可能状態をオンにする (▶ 52)。
- » ウィンカーが 1 回点灯します。
- » 操作音が 1 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA は OFF の状態です。



バリエーション 2：

- 無線キーのボタン **1** を 1 回押します。
-  アラーム機能が無線キーで作動解除され、続いて作動スタンバイにならない場合には、自動設定 が ON になっている限り、アラーム機能は約 30 秒後に自動的に再び作動します。
- » ウィンカーが 1 回点灯します。
 - » 操作音が 1 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
 - » DWA は OFF の状態です。

DWA を調整する

- 作動可能状態をオンにする (▶▶ 52)。
- メニュー設定、車両設定、盗難警報装置 を呼び出します。

» 以下の設定が可能です：

- 警告音 を調整する
- 傾斜センサー を ON にする / OFF にする
- 確認音 を ON にする / OFF にする
- 自動設定 を ON にする / OFF にする

» 調整方法 (▶▶ 65)

調整方法

警告音：次第に強くなる / 弱くなるタイプまたは断続的なタイプのアラーム音を設定します。

傾斜センサー：傾斜センサーを作動させ、車両の傾きをモニターします。DWA はホイールの盗難や牽引などの際に反応します。

 車両の輸送時には、DWA が作動するのを防ぐため、傾斜センサーを作動解除してください。

確認音：DWA の ON/OFF 後に、ウインカーの点灯に加えて鳴る確認アラーム音。

自動設定：作動スタンバイ OFF 時にアラーム機能を自動的に作動状態にする。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)

- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

規定圧警告を ON または OFF にする

- 最低タイヤ空気圧に達すると、規定圧警告が表示されることがあります。
- メニュー設定、車両設定、RDC を呼び出します。
- 規定圧警告 を ON または OFF にします。

ヒーター

グリップヒーターの操作

- グリップヒーター ^{OE} 装備
- シートヒーター ^{OE} 非装備

 グリップヒーターは、走行スタンバイが ON になっているときのみ作動させることができます。

- 走行可能状態をオンにする (▶▶ 123)。



- ボタン **1** を繰り返し押して、希望の暖房レベル **2** をグリッ

66 取扱方法

プヒーターアイコン 3 の前に表示させます。

グリップは 3 段階で暖めることができます。

ヒーター出力(低)

ヒーター出力(中)

ヒーター出力(高)

» 高い方のヒーターレベルではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

• グリップヒーターを OFF にするには、ボタン 1 を繰り返し押し、グリップヒーターアイコン 3 を非表示にします。

ヒーターを操作する

-グリップヒーター^{OE} 装備

-シートヒーター^{OE} 装備

グリップヒーターおよびシートヒーターは、走行スタンバイが ON の状態のときのみ作動させることができます。

• 走行可能状態をオンにする (123)。



• ボタン 1 を押します。

» メニューヒーター が開きます。

• グリップヒーター またはシートヒーター を選択します。

• ご希望のヒーターレベルを選択し、確定します。

» 選択されたヒーターレベルが、ディスプレイのヒーターアイコン 2 の左隣に表示されます。

• ボタン 1 を押し、メニューヒーター を閉じます。

設定されたヒーターレベルは、作動スタンバイを OFF にした後も維持されます。

ストレージコンパートメント

ストレージコンパートメントを使用する

前提条件

作動スタンバイを ON にします。



- ストレージコンパートメントフラップ **1** を、ボタン **2** を押して開きます。
- » 開かれたストレージコンパートメントフラップは各種の品物を置くには適していません。
- ストレージコンパートメントフラップ **1** を閉じるには、ロックにしっかりと押し込みます。



重要事項

特に夏季にストレージコンパートメントの内部温度が高くなる収納したもの、特に携帯電話やMP3 プレーヤーなどの電子機器の損傷

- 使用上の制限事項については電子機器の取扱説明書をご参照ください。

- 夏期には、熱に敏感な物をストレージコンパートメントに入れないでください。

ベンチレーション

充分に空気循環が行われるように、ストレージコンパートメント内の温度が 30 °C になるとファンが ON になります。ストレージコンパートメント内の温度が 25 °C を下回ると、ファンは再び OFF になります。

スマートフォンを充電する

前提条件

作動スタンバイを ON にします。

- ストレージコンパートメントを開きます。



- スマートフォン **2** のディスプレイを上に向けてスリット **1** に挿入します。
- » スマートフォンは固定されています。

68 取扱方法



- 充電ケーブルをスマートフォン 2 と USB-C ポート 3 に接続します。

 BMW Motorrad は、ストレージコンパートメント内でのスマートフォンの充電用に、BMW Motorrad USB ケーブルの使用をお勧めします。市販の充電ケーブルでは、場合によりストレージコンパートメント内で十分な場所が得られず、損傷するおそれがあります。



- ストレージコンパートメントフラップ 4 を閉じます。

ご利用のための注意事項

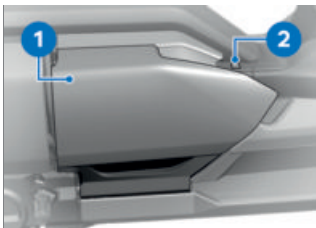
このストレージコンパートメントは最大寸法 158 mm x 78 mm x 10 mm のスマートフォンに適しています。場合によりホルダーに固定できない小型の携帯電話用に、BMW Motorrad は BMW Motorrad スマートフォンケースの使用をお勧めします。

チャージ電流

最大 1.5 A の充電電流(最大充電出力 7.5 W) を利用可能な 5 V USB-C 充電ポートを用います。

ヘルメット用コンパートメント ヘルメットコンパートメントを取り扱う

- 作動スタンバイを ON にします。



- ヘルメットコンパートメントフラップ 1 をボタン 2 で開きます。

 ストレージコンパートメントの照明は、作動スタンバイを ON にすると ON になります。作動スタンバイ OFF の後、スト

レージコンパートメントライトがさらに短時間点灯し続けます。

- サイドフェアリングを取り付ける (▶▶ 153)。

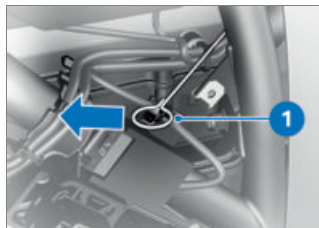
	ヘルメット収納スペースの積載
max 8 kg	

» 開かれたヘルメットコンパートメントフラップは各種の品物を置くには適していません。

- ヘルメットコンパートメントフラップ **1** を閉じるには、しっかりとロックに押し込みます。
- » ヘルメットコンパートメントフラップが両方のロックフックに音を立ててかみ合います。

ヘルメットコンパートメントの緊急ロック解除

- サイドフェアリングを取り外す (▶▶ 152)。



- タブ **1** を必要に応じてツールキットを使用して矢印の方向に引きます。
- » ヘルメットコンパートメントをロック解除します。

TFTディスプレイ

05

一般的な情報	72
原理	73
PURE RIDE 画面	79
PURE 画面	80
スプリットスクリーン	80
一般的な設定	81
BLUETOOTH	83
WLAN	85
MY MOTORCYCLE	86
オンボードコンピューター	89
ナビゲーション	90
メディア	92
電話	93
ソフトウェアバージョンを表示する	94
ライセンス情報を表示する	94

72 TFT ディスプレイ

一般的な情報

警告



警告

走行中のスマートフォンの操作事故の危険性があります

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中にスマートフォンは使用しないでください。ハンズフリーユニットによる電話など、操作なしの使用は例外となります。



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

Connectivity 機能

Connectivity 機能にはメディア、電話とナビゲーション領域が含まれます。Connectivity 機能は、TFT ディスプレイが携帯端末機器およびヘルメットと接続されている場合に利用することができます (▶▶ 83)。Connectivity 機能に関する詳細情報についてはこちらをご覧ください：

bmw-motorrad.com/connectivity



携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected App で、利用情報および車両情報呼び出すことができます。ナビゲーションなどの一部の機能を利用するには、App を携帯端末機器にインストールして、TFT ディスプレイと接続しておく必要があります。App を使用して目的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。



iOS オペレーティングシステム搭載機器など一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

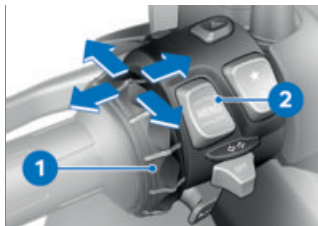
本書の記述について

編集終了後に TFT ディスプレイが更新されることがあります。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。更新情報についてはこちらをご覧ください：

bmw-motorrad.com/service

原理

操作エレメント



ディスプレイの全内容の操作は、マルチコントローラー **1** および MENU ロッカーボタン **2**で行います。状況に応じて以下の機能が可能です。

マルチコントローラーの機能

マルチコントローラーを上に戻す：

- リストのカーソルを上に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を上げます。

マルチコントローラーを下に戻す：

- リストのカーソルを下に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を下げます。

マルチコントローラーを左に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 機能を左に、または前に戻るように作動させます。
- 設定後、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- メニュー My Motorcycle で：メニュー画面をさらにスクロールします。
- Pure Ride 画面で：前のスプリットスクリーン表示までスクロールします。

マルチコントローラーを右に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 選択を確定します。
- 設定を確定します。
- メニューステップを先にめくります。
- リストで右にスクロールします。

74 TFT ディスプレイ

- メニューMy Motorcycle で：メニュー画面をさらにスクロールします。
- Pure Ride 画面で：次のスプリットスクリーン表示までスクロールします。

MENU ロッカーボタンの機能

 メニューナビゲーションが呼び出されていない場合、ナビゲーション指示はダイアログ形式で表示されます。モメンタリボタン MENU の操作は一時的に制限されます。

MENU の上を短押しする：

- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- Pure (Ride) 画面で：ステータスバー用の表示を切り替えます。

MENU の上を長押しする：

- メニュー画面で：Pure Ride 画面を開きます。

MENU の下を短押しする：

- 一階層下に切り替えます。
- 最下層に達した場合は機能しません。

MENU の下を長押しする：

- MENU ロッカーボタンの上を長押ししてメニューを切り替えた後に、前回呼び出したメニューに戻ります。

スタートメニューでの操作情報



操作情報は、どのような操作が可能／不可能であることを示します。

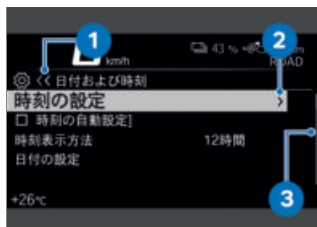


操作情報の意味：

- 操作情報 1：左端に達しています。
- 操作情報 2：右へスクロールすることができます。
- 操作情報 3：下へスクロールすることができます。
- 操作情報 4：左へスクロールすることができます。

サブメニューの操作情報

スタートメニューの操作情報に加えて、サブメニューにもそれ以外の操作情報があります。



操作情報の意味：

- 操作情報 1：現在の表示は階層メニューの中にあります。アイコンはサブメニュー階層を示します。2つのアイコンはサブメニュー階層が2つ以上あることを示します。上の階層に戻るかどうかに応じて、アイコンの色は変化します。
- 操作情報 2：さらなるサブメニュー階層を呼び出すことができます。
- 操作情報 3：項目の数が、表示できる数を超えています。

機能を ON または OFF にする



メニュー項目の一部の前にはボックスが表示されています。このボックスは、機能が ON または OFF であることを示しています。メニュー項目の後ろにあるアクションアイコンは、マルチコントローラーを右に短く傾けると何がどのように切り替わるのかを具体的に示しています。

ON と OFF の例：

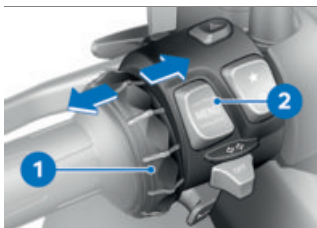
- アイコン 1 は、機能が ON であることを示しています。
- アイコン 2 は、機能が OFF であることを示しています。
- アイコン 3 は、機能を OFF にできることを示しています。
- アイコン 4 は、機能を ON にできることを示しています。

Pure (Ride) 画面を表示する

- MENU ロッカースイッチ上側を長押しします。

76 TFTディスプレイ

メニューの呼出し



- Pure (Ride) 画面を表示する (▶▶▶ 75)。
- ボタン 2 を下方向へ短く押します。

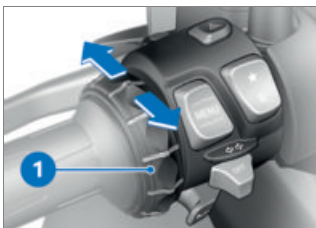
以下のメニューを呼び出すことができます：

- My Motorcycle
- ナビゲーション
- メディア
- 電話
- 設定

- マルチコントローラー 1 を右に繰り返し短押しして、希望のメニュー項目をマークします。
- ボタン 2 を下方向へ短く押します。

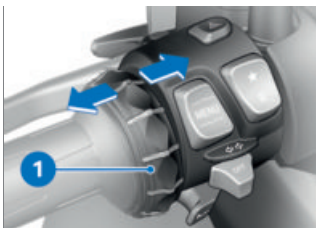
 メニュー設定は停車時のみ呼び出すことができます。

リストのカーソルを移動させる



- メニューの呼出し (▶▶▶ 76)。
- リストのカーソルを下に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー 1 を下に回します。
- リストのカーソルを上に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー 1 を上に回します。

選択を確定する



- 希望の項目を選択します。
- マルチコントローラー 1 を右に短押しします。

前回使用したメニューを呼び出す

- Pure Ride 画面で：MENU ロッカーボタンを長押しします。
- » 前回使用したメニューが呼び出されます。前回マークした項目が選択されています。

ステータスバー用の表示を切り替える

前提条件

モーターサイクルは停車しています。Pure (Ride) 画面が表示されていること。

- 作動可能状態をオンにする (▶▶ 52)。
- » TFT ディスプレイでは、オンボードコンピューター(例：TRIP 1) およびトリップコンピューター(例：TRIP 2) からの公道での走行用に必要なすべての情報が利用可能です。この情報は上側のステータス欄に表示することができます。
- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備
- » さらに、タイヤ空気圧モニターの情報も表示することができます。◀
- 上側ステータスバーの内容を選択する (▶▶ 78)。



- ボタン 1 を長押しして、Pure Ride 画面を表示させます。
- ボタン 1 を繰り返し短押しして、上側のステータス欄 2 の値を選択します。

次の値を表示可能です：

-  オドメーター
-  トリップメーター 1
-  トリップメーター 2
-  燃費 1(平均)
-  燃費 2(平均)
-  回生 1
-  回生 2
-  走行時間 1

78 TFTディスプレイ



走行時間 2



停止 1



停止 2



速度 1(平均)



速度 2(平均)

タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE}
装備



タイヤ空気圧<

上側ステータスバーの内容を選択する

- メニュー設定、表示、コンテンツステータスライン を呼び出します。
- ご希望の表示を ON にします。
- » 上側ステータスバーでは、選択されている表示の中で切り替えることができます。何も表示が選択されていない場合には、バッテリー充電レベルと航続可能距離が表示されます：

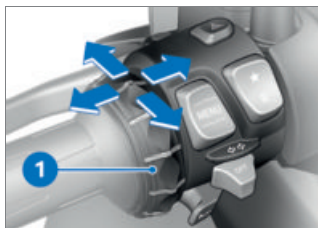


バッテリー充電レベル



航続可能距離

設定を行う



- 希望の設定メニューを選択して確定します。
 - マルチコントローラー **1** を下に回して、希望の設定をマークします。
 - 操作情報がある場合は、マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
 - 操作情報がない場合は、マルチコントローラー **1** を左に傾けます。
- » 設定が保存されました。

制限速度情報を ON または OFF にする

前提条件

車両は互換性のある携帯端末機器と接続されています。モバイル端末機器にBMW Motorrad Connected アプリがインストールされています。

- 速度制限の情報は、(ナビゲーションのマップデータの編集者により使用されている範囲内で) 現在許容されている最高速度を示します。

- メニュー設定、表示 を呼び出します。
- 速度制限の情報 を ON または OFF にします。

お気に入りボタン



- メニュー設定、システム設定、お気に入りボタン、スター で選択します。
 - ご希望の機能または割り当てなし を選択します。
- » ボタン **1** を操作するたびに、選択された機能が呼び出されます。

PURE RIDE 画面

駆動システム表示



- 1 回生トルク
- 2 現在の回生トルクまたは駆動トルク
- 3 駆動トルクの範囲

制限



アイコン **1** は、エネルギー回生が制限されていることを示します。

アイコン **4** は、出力が制限されていることを示します。

制限とともに以下のアイコンがディスプレイ右上に表示されます：

アイコン **2**：エネルギー回生は著しく制限されています。

80 TFT ディスプレイ

アイコン 3：出力は著しく制限されています。

制限には様々な原因があります。発生しているシステムエラーの他に、走行モードおよび温度やバッテリー充電レベルのような周辺条件が、出力やエネルギー回生を制限することもあります。

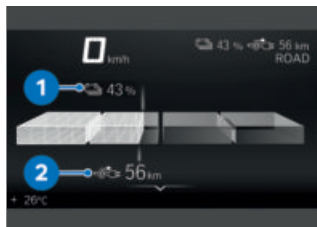
航続可能距離とバッテリー充電レベル



航続可能距離 2 は、現在のバッテリー充電レベル 1 であとどのくらいの距離を走行できるのかを示します。

PURE 画面

表示

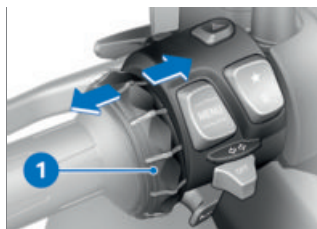


車両が走行スタンバイの状態でない場合、Pure Ride 画面の代わりにPure 画面がディスプレイに表示されます。

バッテリー充電レベル 1 と航続可能距離 2 が表示されます。

スプリットスクリーン

スプリットスクリーンを ON にし、表示を選択する



- Pure (Ride) 画面を表示する (75)。
- ご希望の表示が表示されるまで、Multi-Controller 1 を右ま

たは左に繰り返し短押しします。

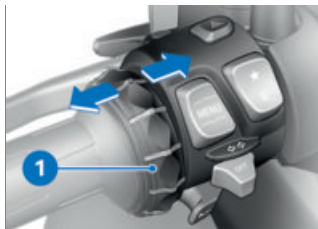
- またはその代わりに、Multi-Controller 1 を右に長押しすると、スプリットスクリーンで最後に選択した表示に戻ります。

以下の表示を選択することができます：

- オンボードコンピュータ
- トリップコンピュータ
- ナビゲーション
- メディア

» 選択された表示は、作動スタンバイを OFF にした後も保持されます。

スプリットスクリーンを OFF にする



- Pure (Ride) 画面を表示する (▶▶ 75)。
- スプリットスクリーンが非表示になるまで、Multi-Controller 1 を左に繰り返し短押しします。

- またはその代わりに、Multi-Controller 1 を左に長押しします。

一般的な設定

音量を調整する

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する (▶▶ 84)。
- 音量を上げる：マルチコントロールローラーを上方向に回します。
- 音量を下げる：マルチコントロールローラーを下方向に回します。
- ミュート切替：マルチコントロールローラーを完全に下方向に回します。
- » ミュート設定時には、メディア再生が一時停止になります。

日付を設定する

- 作動可能状態をオンにする (▶▶ 52)。
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付の設定 を呼び出します。
- 日、月 および年 を調整します。
- 設定を確定します。

日付の表示形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付表示方法 を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

82 TFTディスプレイ

時計を調整する

- 作動可能状態をオンにする (▶▶ 52)。
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻の設定 を呼び出します。
- 時間 および分 を調整します。

表示時刻形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻表示方法 を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

表示単位を設定する

- メニュー設定、システム設定、単位 を呼び出します。
- 設定可能な単位は以下の通りです：

- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備
- 圧力 <
- 温度
- 車速
- 燃費

言語を設定する

- メニュー設定、システム設定、言語 を呼び出します。
- 設定可能な言語は以下の通りです：
- ドイツ語
 - 英語(UK)
 - 英語(US)
 - スペイン語
 - フランス語

- イタリア語
- オランダ語
- ポーランド語
- ポルトガル語(ブラジル)
- ポルトガル語(ポルトガル)
- トルコ語
- ロシア語
- ウクライナ語
- 中国語
- 日本語
- 韓国語
- タイ語

明るさを調整する

- メニュー設定、表示、明るさ を呼び出します。
 - 明るさを調整します。
- ※ ディスプレイの明るさは、所定の周囲輝度を下回ると設定されている値に調光されます。

すべての設定をリセットする

- メニュー設定 のすべての設定を工場設定にリセットすることができます。
- メニュー設定 を呼び出します。
- すべてリセットする を選択し、確定します。

以下のメニューの設定がリセットされます：

- 車両設定
- システム設定
- 接続
- 表示
- 情報

» 現在ある Bluetooth 接続は削除されません。

BLUETOOTH

近距離無線技術

Bluetooth では、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth 機器はショートレンジデバイス（限定された受信可能距離で伝送）として、使用料のかからない 2.402 GHz～2.480 GHz の ISM 帯（産業、科学および医療帯）で通信します。この機能は世界中で免許不要で利用することができます。

Bluetooth は、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するように設計されてはいるものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が障害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもあります。特に、複数の機器を 1 つの Bluetooth ネットワークで利用している場合、あらゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

考えられるノイズ源：

- 電波塔などによる妨害磁界。
- 実装されている Bluetooth 標準規格が不十分な機器。
- 周辺に他の Bluetooth 対応機器がある。
- メタル製シールドまたは身体。

Pairing

2 つの Bluetooth 機器間の接続を確立する前に、双方の機器がお互いを認識できている必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスは登録されるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。

 iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前に BMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

ペアリングの際、TFT ディスプレイは自分の受信範囲内にある他の Bluetooth 対応機器をサーチします。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。

- 当該機器の Bluetooth 機能が ON になっていること
- 当該機器が他から「検知可能」になっていること
- その他の Bluetooth 対応機器が OFF になっていなければなりません（携帯電話やナビゲーションシステムなど）。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。

84 TFTディスプレイ

ペアリングを行う

- メニュー設定、接続 を呼び出します。

»メニュー接続 では、Bluetooth 接続を設定、管理、削除することができます。以下の Bluetooth 接続が表示されます：

ー携帯機器

ーライダー

ーパッセンジャー

携帯端末機器の接続ステータスが表示されます。

モバイル端末機器を接続する

- ペアリングを行う (▶▶▶ 84)。
 - モバイル端末機器の Bluetooth 機能を ON にします (モバイル端末機器の取扱説明書を参照)。
 - 携帯機器 を選択し、確定します。
 - 新しい携帯機器のペアリング を選択し、確定します。
- 携帯端末機器をサーチします。

 ペアリング中、下側のステータス欄で点滅します。

認識可能な携帯端末機器が表示されます。

- モバイル端末機器を選択し、確定します。
- モバイル端末機器に関する指示を確認し、遵守してください。
- コードが一致していることを確認します。

»接続が確立され、接続ステータスが更新されます。

»接続が確立されない場合、トラブルシューティングが解決に役立つことがあります。(▶▶▶ 178)

»モバイル端末機器によっては、電話データが自動的に車両に伝送されます。

»電話データ (▶▶▶ 94)

»電話帳が表示されない場合、トラブルシューティングが解決に役立つことがあります。(▶▶▶ 179)

»Bluetooth 接続が想定通りに機能しない場合、トラブルシューティングが解決に役立つことがあります。(▶▶▶ 179)

ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する

- ペアリングを行う (▶▶▶ 84)。
 - ライダー またはパッセンジャー を選択し、確定します。
 - ヘルメットのコミュニケーションシステムを認識可能にします。
 - 新しいペアリング (ライダー) または新しいペアリング (タンデム) を選択し、確定します。
- ヘルメットをサーチします。

 ペアリング中、下側のステータス欄で点滅します。

認識可能なヘルメットが表示されます。

- ヘルメットを選択し、確定します。
- » 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
- » 接続が確立されない場合、トラブルシューティングが解決に役立つことがあります。(▶▶▶ 178)
- » Bluetooth 接続が想定通りに機能しない場合、トラブルシューティングが解決に役立つことがあります。(▶▶▶ 179)

な制約や接続障害が発生することがあります。

接続を削除する

- メニュー設定、接続 を呼び出します。
- 接続の削除 を選択します。
- 接続を個別に削除するには、接続を選択してから確定します。
- すべての接続を削除するには、すべての接続の削除 を選択し、確定します。

WLAN

WLAN 接続

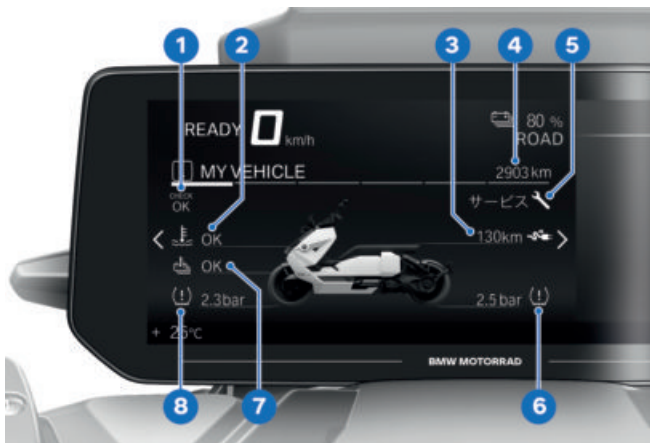
携帯電話からTFT ディスプレイに地図画面を伝送するため、WLAN 接続が使用されます。機能範囲を完全に利用できるようにするため、WLAN を携帯電話で ON にする必要があります。WLAN の作動設定に関する詳細情報については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

WLAN ネットワーク数の多さなどの場所的な条件に応じて、一時的

86 TFT ディスプレイ

MY MOTORCYCLE

スタート画面



- 1 チェックコントロール表示
表示 (▶▶▶ 26)
- 2 クーラント温度ステータス
ス (▶▶▶ 38)
- 3 航続可能距離 (▶▶▶ 80)
- 4 オドメーター
- 5 サービス表示 (▶▶▶ 48)
- 6 タイヤ空気圧(リヤ)
(▶▶▶ 42)
- 7 ハイボルテージバッテリー
温度ステータス
- 8 タイヤ空気圧(フロント)
(▶▶▶ 42)

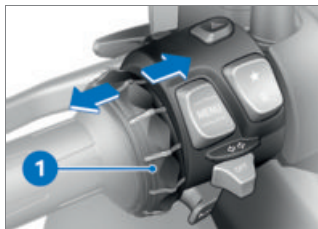
操作情報



ー操作情報 1：左または右へどの程度スクロールできるかを示すタブ。

ー操作情報 2：現在のメニュー画面の位置を示すタブ。

メニュー画面でスクロールする



- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- 右にスクロールするには、マルチコントローラー 1 を右に短押しします。
- 左にスクロールするには、マルチコントローラー 1 を左に短押しします。

以下の画面がメニューMy Motorcycle に含まれています：

ーMY MOTORCYCLE

ーオンボードコンピュータ

ートリップコンピュータ

ータイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

ータイヤ空気圧<

ーサービス実施時期

ーチェックコントロール(ある場合)

- タイヤ空気圧およびチェックコントロールメッセージに関する詳細情報は、「表示」の章に記載されています。



チェックコントロールメッセージが、状況に合わせて、メニューMy Motorcycle のメニュー画面に追加タブとして付加されます。

オンボードコンピュータおよびトラベルボードコンピュータ

メニュー画面オンボードコンピュータ およびトリップコンピュータ は、平均値などの車両データおよび走行データを表示します。

88 TFT ディスプレイ

サービス時期の表示



次回サービスまでの期間が1か月以内になるか、次回サービスまでの距離が1000 km以内になると、チェックコントロールメッセージが白色で表示されます。

オンボードコンピューター

オンボードコンピューターを呼び出す

- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- メニュー画面オンボードコンピューターが表示されるまで、右へスクロールします。
- »またはその代わりに、オンボードコンピューターをスプリットスクリーンに表示させることもできます。
- スプリットスクリーンを ON にし、表示を選択する (▶▶▶ 80)。

オンボードコンピューターをリセットする

- オンボードコンピューターを呼び出す (▶▶▶ 89)。
- MENU ロッカースイッチ下側を押します。
- すべての値をリセットする または個々の値をリセットする を選択し、確定します。

以下の値を個別にリセットすることができます：



走行



走行



現在



速度



燃費



回生 1

トリップコンピューターを呼び出す

- オンボードコンピューターを呼び出す (▶▶▶ 89)。
- メニュー画面トリップコンピューターが表示されるまで、右へスクロールします。
- »またはその代わりに、トリップコンピューターをスプリットスクリーンに表示させることもできます。
- スプリットスクリーンを ON にし、表示を選択する (▶▶▶ 80)。

トリップコンピューターをリセットする

- トリップコンピューターを呼び出す (▶▶▶ 89)。
- MENU ロッカースイッチ下側を押します。
- 自動的にリセットする またはすべての値をリセットする を選択し、確定します。
- »自動的にリセットする が選択されている場合、作動スタンバイ OFF 後に 6 時間以上が経過して日付が変わると、トリップコンピューターは自動的にリセットされます。

ナビゲーション

警告



警告

**走行中のスマートフォンの操作
事故の危険性があります**

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中にスマートフォンは使用しないでください。ハンズフリーユニットによる電話など、操作なしの使用は例外となります。



警告

**交通状態から注意が逸れ、制御
不能になる危険**

- 統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険
- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
 - 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と Bluetooth 経由で接続されていること。

接続されている携帯端末機器に BMW Motorrad Connected App がインストールされていること。



iOS オペレーティングシステム搭載機器など一部の携帯端末機器では、使用前に BMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

地図画面を表示する

前提条件

Bluetooth でペアリングされている携帯電話で WLAN が ON になっています。

- モバイル端末機器を接続する (▶▶ 84)。
- BMW Motorrad Connected アプリを呼び出します。
- メニューナビゲーション を呼び出します。



画面ナビゲーション がスプリットスクリーンで選択されている状態で、メニューナビゲーション が呼び出されると、スプリットスクリーン画面が自動的に終了し、ナビゲーション が TFT ディスプレイ全体に表示されます。

目的地アドレスを入力する

- モバイル端末機器を接続する (▶▶ 84)。
- BMW Motorrad Connected アプリを呼び出し、目的地ガイドをスタートさせます。
- TFT ディスプレイでメニューナビゲーションを呼び出します。
- » アクティブな目的地ガイドが表示されます。
- ー モバイル端末で WLAN が ON になっていない場合、目的地ガイドは矢印によるナビゲーションで表示されます。
- » 有効なルート案内が表示されない場合、トラブルシューティングが解決に役立つことがあります。(▶▶ 179)

目的地を直近の目的地から選択する

- メニューナビゲーション、前回の目的地を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始を選択します。

目的地をお気に入りから選択する

- メニューお気に入り は、BMW Motorrad Connected アプリでお気に入り登録されているすべての目的地を表示します。TFT ディスプレイでは新しいお

気に入り登録することはできません。

- メニューナビゲーション、お気に入り を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始 を選択します。

追加目的地を入力する

- 観光地などの追加目的地を地図に表示させることができます。
- メニューナビゲーション、POI を呼び出します。

以下の場所を選択することができます：

- ー 現在地で
- ー 目的地で
- ー ルートに沿って
- どの場所で追加目的地を検索するか、選択してください。

例えば、以下の追加目的地を選択することができます：

- ー ガソリンスタンド
- 追加目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始 を選択し、確定します。

ルート基準を決定する

- メニューナビゲーション、ルートの基準を呼び出します。
- 以下の基準を選択することができます：
- ー ルートタイプ
 - ー 回避
 - 希望のルートタイプ を選択します。

92 TFTディスプレイ

- ご希望の回避 を ON または OFF にします。
有効にした回避の数がカッコ内に表示されます。

ルート案内を終了する

- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- ルート案内を終了 を選択し、確定します。

音声指示を ON または OFF にする

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する (▶▶ 84)。
- ナビゲーションはコンピューター音声による読み上げが可能です。そのためには音声案内 が ON になっている必要があります。
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- 音声案内 を ON または OFF にします。

直前の音声指示を繰り返す

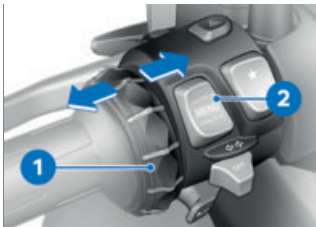
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- 現在の音声案内 を選択し、確定します。

メディア

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

音楽再生を制御する



- メニューメディア を呼び出します。

 BMW Motorrad は、走行前にモバイル端末機器のメディアおよび通話の音量を最大に設定することを推奨します。

- 音量を調整する (▶▶ 81)。
- 次のタイトル(トラック)：マルチコントローラー **1** を右に素早く傾けます。
- 前のタイトル(トラック) または現在のタイトル(トラック) の出だし：マルチコントローラー **1** を左に素早く傾けます。
- コンテキストメニューを呼び出す：ボタン **2** を下方向へ押します。

 携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。

» コンテキストメニューでは以下の機能を利用できます：

- 再生 または一時停止。
- 検索および再生には、カテゴリー現在の再生、すべてのアーティスト、すべてのアルバム またはすべてのタイトル を選択します。
- プレイリスト を選択します。

サブメニューオーディオ設定 では以下の設定を行うことができます：

- ランダム再生 を ON または OFF にします。
- リピート：OFF、ON(現在のタイトル) またはすべて を選択します。

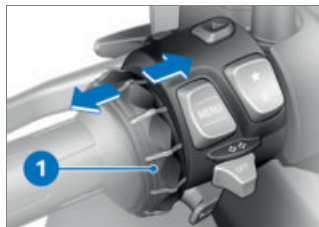
» プレイリストがTFT ディスプレイに表示されない場合、トラブルシューティングが解決に役立つことがあります。(▶ 179)

電話

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

電話する



- メニュー電話 を呼び出します。

 着信時にはポップアップが開きます。

- 電話を受ける：マルチコントローラー 1 を右に傾けます。
- 電話を拒否する：マルチコントローラー 1 を左に傾けます。
- 通話を終了する：マルチコントローラー 1 を左に傾けます。

ミュートスイッチ

通話が有効な際に、ヘルメットのマイクロフォンをミュートに切り替えることができます。

複数の相手との通話

通話中に、別の相手からの着信を受けることができます。最初の通話は保留になります。継続中の通話の数がメニュー電話 に表示されます。2つの通話間で切り替えを行うことができます。

94 TFT ディスプレイ

電話データ

モバイル端末機器によっては、ペアリング (■▶ 83) 後に電話データが車両に自動的に伝送されます。

電話帳：モバイル端末機器に保存されているコンタクトリスト

通話履歴：モバイル端末機器での通話リスト

お気に入り：モバイル端末機器に保存されているお気に入りリスト

ソフトウェアバージョンを表示する

- メニュー設定、情報、ソフトウェアバージョン を呼び出します。

ライセンス情報を表示する

- メニュー設定、情報、ライセンス を呼び出します。

調整

06

ミラー	98
ヘッドライト	98
スプリングブリロード	99

98 調整

ミラー

ミラーを調整する



- ミラーの端を軽く押して、ご希望の位置に調整します。

 ミラーの調整範囲がミラーを正しく調整するには十分でない場合、ミラーアームの位置を調整する必要があります。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を適切なツールを使用して外します。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。

- ミラーアームを保持しながら、ナット **2** を締付けトルクで締め付けます。

 左ミラー(ロックナット)とアダプター

M10

22 Nm (左ネジ)

- 保護キャップ **1** をねじ止め部の上にずらします。

ヘッドライト

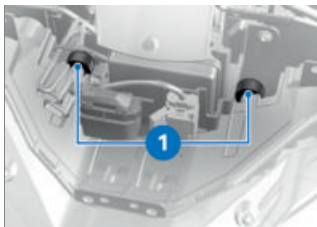
光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

光軸調整が正しいか疑いのある場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

光軸を調整する

- フロントフェアリングを取り外す (▶ 151)。



積載負荷が高い場合には、対向車を幻惑しないようにするため、スプリングプリロードを調整する必要があります。スプリングプリロードの調整が十分でない場合には、さらに光軸をヘッドライトで修正する必要があります。

- 光軸をアジャストスクリュー **1** で調整します。
- フロントフェアリングを取り付ける (152)。

E-Scooter で再び、より低い積載荷重で走行する際には、

- ヘッドライトの基本調整を専門の整備工場に、できれば、BMW Motorrad パートナーに依頼してください。

スプリングプリロード

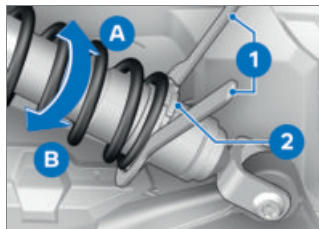
調整

リヤホイールのスプリングプリロードはE-Scooter の積載量に適合させる必要があります。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリ

ングプリロードも低く調整する必要があります。

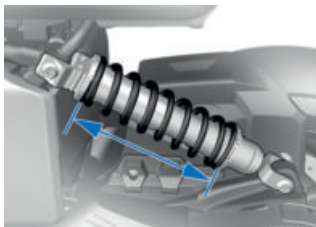
スプリングストラットでのスプリングプリロードの調整

- E-Scooter を平坦で安定した路面の上に停車します。



- ロックナット **2** を緩めます。
- スプリングプリロードを高くするには、ツールキット **1** を使用して調整リングを矢印の方向 **A** に回します。
- スプリングプリロードを低くするには、ツールキット **1** を使用して調整リングを矢印の方向 **B** に回します。

100 調整



 リアスプリングプリロードの基本調整

スプリング長さ(基本設定) :
257.5 mm (満タン状態、ドライバー 85 kg を含む)

スプリング長さ(基本設定) :
257.5 mm (1 名乗車時、荷物積載なし)

スプリング長さ(基本設定) :
247.5 mm (1 名乗車時、荷物積載あり)

スプリング長さ(基本設定) :
227.5 mm (後席乗車時、荷物積載あり)

- ロックナット 2 を締め付けます。

BMW EPOWER

07

原理	104
一般的な情報	104
充電ケーブル	106
チャージプロセス	108

原理

車両は、搭載された電動駆動システムにより完全にゼロエミッションで走行します。

専用のハイボルテージバッテリーが、電気モーターにエネルギーを供給します。

発進、加速または高速走行などのすべての走行条件において、強力なトルクを持つ電気モーターがダイナミックな走行特性を可能にします。

ハイボルテージバッテリーは、駐車中などには充電ケーブルを介して、そして走行中にはエネルギー回生システムにより充電されます。

専用の電源接続部を介してさらに迅速に充電することができます。また、住宅などでは家庭で一般的なコンセントを介しても充電することができます。

エネルギー回生

走行中、ハイボルテージバッテリーはエネルギー回生システムにより充電されます。エネルギー回生システムにより、減速時のエネルギー損失が極めてわずかに抑えられます。車両の制動時に、電気モーターがジェネレーターのように機能し、一部またはすべての放出された運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。それにより、ハイボルテージバッテリーが一

部再充電され、最大航続距離が可能になります。この充電は、スロットルグリップを閉位置にして走行中または回生運転中に行われます。

減速によるエネルギー回生に関する詳細情報については、章「走行」(124)を参照してください。

メーターパネルの領域CHARGEにマークが表示されます。予測をしながらの走行および早期の減速が、車両のエネルギー回生システムを最大限に利用するために重要となります。

一般的な情報



危険

電流に関する不適切な取り扱い。

人的または物的損傷(感電や火災などによる)。

• 安全規定を確認し、遵守してください。

重要事項

充電システムにおける使用前点検の欠落

物的損傷および電流供給網の過負荷

- 初回のチャージプロセスの前に、電気専門技師に充電場所における充電システムの点検を依頼してください。

注意

充電スタンドにおける注意事項の無視

感電や火災などによる人的または物的損傷

- 充電スタンドの注意事項を遵守してください。

重要事項

充電システムの状態不備

摩耗したコンタクトまたは損傷などによる火災の危険

- 充電システムは必ず支障のない状態で使用します。

危険

充電ソケットを正しく清掃しなかった場合。

感電や火災などにより人的または物的損傷のおそれがあります。

- 専門教育を受けた作業員のみが清掃を許可されています。

 E-Scooter を、充電レベルが低すぎる状態で長い間置いたままにしておかないでください。

駐車状態が長くなる場合には、その前に、充電レベルインジケータを使用して、ハイボルテージバッテリーがフル充電されていることを確認してください。過放電の状態になると、ハイボルテージバッテリーが損傷します。

 30 km を下回る航続可能距離でハイボルテージバッテリーの充電を行うと、さらに、電気駆動の出力が明らかに弱まることがあります。

修理

 充電ケーブルコンポーネントを開くことは損傷につながり、保証の対象になりません。充電ケーブルの修理またはコンポーネントの交換 (コネクタ、接続部またはIncable Modul) は

メーカーでのみ実施することができます。

事故後の対処



危険

事故後にハイボルテージケーブルに触れる場合。

感電による生命の危険のおそれがあります。

- ・事故の後には、オレンジ色のハイボルテージケーブルなどのハイボルテージコンポネント、または露出しているハイボルテージケーブルに接触している部品に絶対に触れてはなりません。



注意

ハイボルテージバッテリーからあふれ出ている液体

負傷する危険があります

- ・ハイボルテージバッテリーからあふれ出ている液体には触れないでください。

車両が事故に巻き込まれた場合には、ハイボルテージシステムに関する以下の追加的な安全対策を遵守してください：

- 事故現場の安全を確保する。
- 救助隊員、警察または消防署員にハイボルテージ搭載車両であることを即座に伝える。
- 作動スタンバイを OFF にします。
- ハイボルテージバッテリーから流出するガスを吸引しない。必要に応じて車両から離れる。

充電ケーブル



危険

使用を許可されていない充電ケーブルを使用した場合。

ケーブルが燃えることなどによる人的・物的損傷のおそれがあります。

- ・充電するには、使用を許可されている充電ケーブルおよび充電ステーションのみを使用してください。
- ・使用を許可されているケーブルに関する情報についてはサービスパートナーにお問い合わせください。

⚠ 重要事項

充電ケーブルの不適切な使用
ケーブルの火災などによる物的損傷

- 充電ケーブルはE-Scooterを充電するためにのみ使用します。
- 充電ケーブルは、その他のケーブルまたはアダプターを用いて延長してはなりません。

⚠ 危険

損傷した充電ケーブルを使用した場合。

感電や火災などによる人的または物的損傷のおそれがあります。

- 損傷した充電ケーブルを使用しないでください。
- 損傷した充電ケーブル（ハウジングまたはケーブル）はすぐに使用をやめてください。

i 高電圧充電ポートには保護キャップを付けて、水分や汚れから保護してください。

各国別仕様に従って各種の充電ケーブルが必要であり、それらはセット内容の中に含まれていません。

充電ケーブルはヘルメットコンパートメントに収納することができます。

またはその代わりに充電ステーションに備え付けのケーブルを使用してください。

標準充電ケーブル

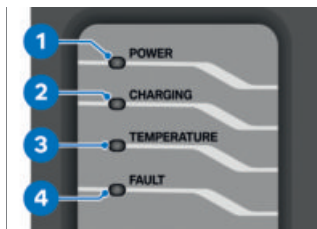
標準充電ケーブルは、保護導体付き家庭用コンセントで充電することができます。家庭用コンセントの電源接続部では、交流電流により充電されます。

必ず標準充電ケーブルの詳細な取扱説明書を確認し、遵守してください：

www.apativ.com/online-manual

標準充電ケーブルの表示

標準充電ケーブルはLED 4個によりステータスを示します。



1: 家庭用コンセントまたは充電ステーションからの電源供給

2: 充電表示

3: 温度モニター

4: 家庭用コンセントまたは充電ステーションまたは充電ユニットからのエラー

チャージプロセス

充電前



危険

電力供給網への接続における安全上の注意事項を無視した場合。

感電や火災などによる人的または物的損傷のおそれがあります。

- 各電力供給網への接続における安全上の注意事項を遵守してください。



重要事項

充電電流が電力網に適合していない

家庭用コンセントの過熱や電力網の過負荷などによる、火災の危険があります

- 充電前に家庭用コンセントの最大負荷容量を確認し、充電電流の限界を電力網に合わせて調整してください。



充電中にその他の電装品を電源接続部で使用したり、複数の電装品が同時に大量の電力を消費することを回避するために、チャージプロセスはいつで

も一時停止でき、後の時点で続行することができます。



一時的な停電などによって充電プロセスが中断された場合、充電プロセスは中断の後に自動的に続行されます。ただし、中断が2分を超える場合には、充電プロセスは自動的に続行されません。



極端な外気温度の場合、ハイボルテージバッテリーを保護するために、充電プロセスにかかる時間が長くなります。



標準充電ケーブルは - 32 °C 未満の温度では機能しません。充電ケーブルは、充電プロセスの前に、周囲温度が - 32 °C ~ 40 °C の場所で保管してください。

充電コンパートメントを取り扱う



- 充電コンパートメントフラップ 1 をグリップ 2 を使用して開きます。

- » 開かれた充電コンパートメントフラップは各種の品物を置くには適していません。
- 充電コンパートメントフラップ **1** を閉じるには、ロックにしっかりと押し込みます。

チャージ電流の設定

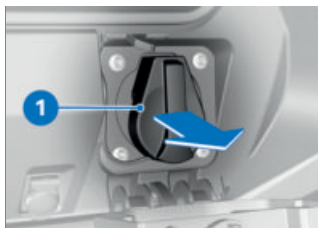
- 作動可能状態をオンにする (▶▶ 52)。
- 充電電流をメニュー設定、車両設定、充電調整、充電電流制限 で設定します。



家庭用コンセントまたは充電ステーションで異なる充電電流を使用できる場合には、より低い方の充電電流で充電してください。

チャージプロセスのスタート

- 作動可能状態をオフにする (▶▶ 53)。
- » 作動スタンバイが OFF になって初めて、充電プロセスは開始されます。充電プロセス中に作動スタンバイが再び ON になると、充電プロセスは中断されます。
- 充電コンパートメントを開きます。



- 充電ポートカバー **1** を取り外します。
- 保護キャップを充電プラグから取り外します。



重要事項

充電電流が電力網に適合していない

家庭用コンセントの過熱や電力網の過負荷などによる、火災の危険があります

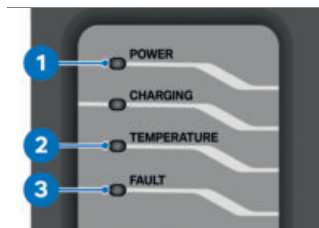
- 充電前に家庭用コンセントの最大負荷容量を確認し、充電電流の限界を電力網に合わせて調整してください。
- 自宅の家庭用ソケットで初めて充電前ならびにその他の家庭用ソケットで充電する際には、たとえば電気技術者による、許容充電電流値の確認を行ってください。許容充電電流値が定かでない場合には、充電電流制限を最も低いレベルに設定してください。

110 BMW EPOWER

» 工場設定では充電電流制限は 6 A の充電電流に設定されています。

- 充電電流制限は、必要に応じてメニュー設定 車両設定 充電調整 充電電流制限 で調整します。

 家庭用コンセントまたは充電ステーションで異なる充電電流を使用できる場合には、より低い方の充電電流で充電してください。



- 必要に応じて、標準充電ケーブルを家庭用コンセントに、または Mode3 充電ケーブルを充電スタンドに接続します。充電ステーションで充電する場合には、充電ステーションの指示を確認し、遵守してください。

» 標準充電ケーブルは自動的に必要なすべてのテストステップを実行します。そこで LED 1 が点灯する場合、テストは正常に終了しています。LED 2 または 3 が点灯または点滅する場合、テストは正常に終了していません、充電プロセスを開始する

ことはできず、充電ケーブルを車両に接続してはなりません。以下のテストステップが実行されます

- 家庭用ソケットの配線に誤りがないかの点検

- 現在ある保護導体接続の点検

- 適切な充電のための前提条件の点検

» ステータス表示 / エラーメッセージは章「表示」にリストアップされています。エラーメッセージが発生した場合は、これを次のようにリセットすることができます：

- 家庭用ソケットからコネクタを引き抜くことにより、標準充電ケーブルを電源電圧から切り離します。

- 10 秒後にコネクタを再び差し込みます。

» 標準充電ケーブルの損傷を示す危険なエラーは、リセットされません。このエラーには次のものがあります：

- リレーの溶着 (機器の恒久的な故障)

- 温度センサーの故障

- 故障電流テストネガティブ



危険

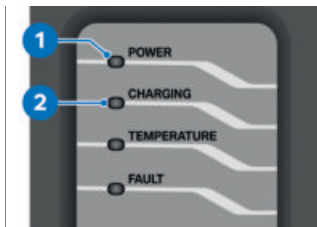
損傷した充電ケーブルを使用した場合。

感電や火災などによる人的または物的損傷のおそれがあります。

- 損傷した充電ケーブルを使用しないでください。
- 損傷した充電ケーブル（ハウジングまたはケーブル）はすぐに使用をやめてください。
- できる限り早く、BMW Motorradディーラーに故障の修理を依頼してください。



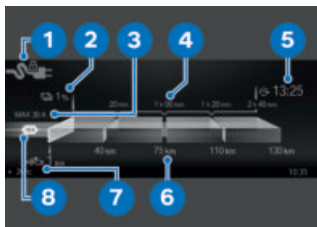
- 充電ケーブル 2 を充電ポート 1 に接続します。
- » 作動スタンバイが OFF の場合または車両が充電されている場合には、充電ケーブルは電氣的にロックされています。



- 充電ケーブルの表示に注意してください。
- » 標準充電ケーブルは必要なすべてのテストステップを自動的に実行します。LED 1 が点灯し、LED 2 が点滅する場合、点検は正常に終了しており、車両の充電が行われます。

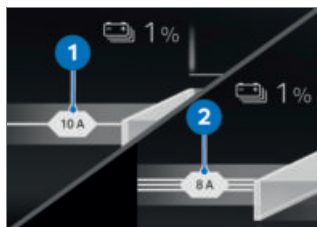


作動スタンバイが ON の場合には、注意事項 2 が表示されます。アイコン 1 は、充電ケーブルが接続されているが、充電プロセスがまだ始まっていないことを知らせます。車両を OFF にして直接充電プロセスを開始するか、充電電流制限を選択することができます。

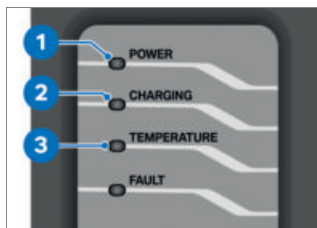


コネクター検知の状態に関するアイコン **1** が表示されます。充電レベル **2** と航続可能距離 **7** が表示されます。予想充電時間 **4** は予想航続可能距離 **6** と共に、見込まれる特定の航続可能距離に到達するために、車両がどのくらい充電しなければならないかを示します。目標時間 **5** は、いつまでに車両が充電 100 % に達するかを示します。目標時間は、常に車両で設定された時間になります。インフラストラクチャーが設定メニューで選択されているよりも大きな値の電流を提供している場合、有効な充電電流制限 **8** の他に、使用可能な最大充電電流値 **3** が表示されます。しばらくすると、ディスプレイが自動的に Stand-by-Modus (省電力モード) に切り替わります。充電プロセスが続行されます

ークイックチャージャー 0E 装備



ディスプレイに、単相充電 **1** か、三相充電 **2** かが表示されます。◁



● 充電ケーブルの表示に注意してください。

» LED **1** および **3** が点灯する場合、充電は高温のために中断されます – 追加で LED **2** が点滅すると、車両はゆっくりと再び充電されます。LED **1** が点灯し、LED **3** が点滅する場合、充電は電源プラグの高温のために中断されます。以下のテストステップが実行されます：

- 現在ある保護導体接続の点検
- 適切な充電のための前提条件の点検

- 最新の充電レベルを再び表示させるため、MENU ボタンを短押しします。
- » I 充電時間が予想より長くかかっている場合には、設定した充電電流制限を点検します。

チャージプロセスの終了

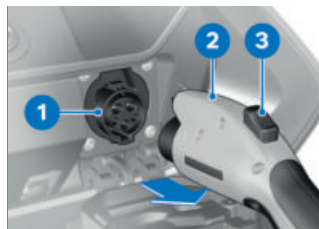
前提条件

充電プロセスを終了する際には、必ず以下のステップの順序を遵守してください。

前提条件

充電ステーションで充電する場合には、充電ケーブルを外す前に充電ステーションの充電プロセスを終了してください。

- 作動スタンバイを ON にします。
- » 充電ケーブルは E-Scooter でロック解除されています。



- ロック解除ボタン3 を押し、充電ケーブル2 をE-Scooter の

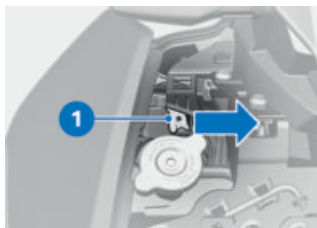
充電ソケット1 から抜き取りま
す。



- 充電ポートカバー 1 をかぶせます。
- 必要に応じて、標準充電ケーブルを家庭用コンセントから、またはMode3 充電ケーブルを充電ステーションから抜き取りま
す。
- 保護キャップを充電プラグにかぶせます。
- 標準充電ケーブルをヘルメットコンパートメントに収納するか、充電ステーションに取り付けられている充電ケーブルを既定の場所に差し込みます。

充電プラグの緊急ロック解除

- フロントフェアリングを取り外す (➡ 151)。



- 緊急ロック解除レバー **1** を、必要に応じて適切な補助ツールを使用して矢印の方向に押します。
- » 充電プラグはロック解除されています。
- フロントフェアリングを取り付ける (▶▶▶ 152)。

走行

08

安全に関する注意事項	118
チェックリストを確認し、遵守する	119
走行開始のたびに：	120
10 回目の充電プロセスごとに	120
走行スタンバイを確立する	120
E-SCOOTER で走行する	122
慣らし走行	125
ブレーキ	125
E-SCOOTER の駐車	126
E-SCOOTER を運搬のために固定する	127

安全に関する注意事項

改造



重要事項

E-Scooter における改造

関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障。改造に起因する損傷に対しては、補償は適用されません。

- いかなる改造も行わないでください。

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着／着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着／着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や季節にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着／着用しなければなりません。BMW Motorrad ディーラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。



警告

むき出しで動いている車両部品(ホイール、ドライブシャフト)に、荷物、ゆったりと着用した衣服、ベルトなどが巻き込まれる

事故が起こる危険

- むき出しで動いている車両部品に、ゆったりと着用した衣服などが決して巻き込まれることがないようにしてください。
- 荷物やテンションベルト、ラッシングストラップなどは、むき出しで動いている車両部品から離れたところに保持してください。

荷物の積み込み



警告

積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる転倒の危険

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。
- スプリングプリロードおよびタイヤ空気圧の設定を車両重量に適合させます。
- ヘルメットコンパートメントの最大積載荷重を確認し、遵守してください。

	ヘルメット収納スペース の積載
max 8 kg	
- トップケース ^{OA} 装備	
• トップケースの最大積載荷重を 確認し、遵守してください。	
	トップケースの積載荷重
max 5 kg<	

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況がE-Scooterの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります：

- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの調整
- 荷物積載のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ空気圧が低すぎる
- タイヤトレッドの摩耗
- トップケースなどの取り付けられたラゲッジシステム

有毒物質



警告

健康を損なう蒸気などを吸い込むこと

健康を損なう危険

- フルード類およびプラスチック類から生じる蒸気を吸い込まないでください。
- モーターサイクルは屋外でのみ使用してください。

改造



重要事項

E-Scooter における改造

関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障。改造に起因する損傷に対しては、補償は適用されません。

- いかなる改造も行わないでください。

チェックリストを確認し、遵守する

- E-Scooter を定期的に点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに：

前提条件

走行開始のたびに：

- ハイボルテージバッテリーの充電状態を点検します。
- ブレーキシステムの機能を点検します。
- 照明および信号装置の機能を点検します。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検する (150)。
- タイヤ空気圧を点検する (149)。
- トップケースおよび荷物が確実に固定されているか点検します。

10 回目の充電プロセスごとに

前提条件

10 回目の充電プロセスごとに：

- フロントブレーキパッド厚を点検する (145)。
- リヤブレーキパッド厚を点検する (146)。
- フロント／リヤブレーキのブレーキフルードレベルを点検する (147)。

走行スタンバイを確立する

Pre-Ride-Check

作動スタンバイを ON にした後、メーターパネルがインジケーター／警告灯のテスト、いわゆる Pre-Ride-Check (走行前点検) を実施します。テストの終了前に走行スタンバイが ON になると、テストは中断されます。

ステップ 1

すべてのインジケーター／警告灯が点灯します。車両が比較的長い間停止状態にあった後にシステムをスタートされると、アニメーションが表示されます。

段階 2

ジェネラル警告灯が赤から黄に変わります。

ステップ 3

点灯しているすべてのインジケーター／警告灯が逆の順序で消灯します。

駆動システム故障警告灯は 15 秒後に消灯します。

インジケーター／警告灯が点灯しなかった場合：

- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

 走行モードまたはその設定に応じて、走行ダイナミクス制御システムの介入は制限されています。

起こりうる制限については、注意！ ABS+DTC の設定。などのポップアップメッセージで表示されます。

ABS および DTC のような走行ダイナミクス制御システムに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad ABS の作動可能状態は、自己診断により点検されます。作動可能状態をオンにした後、自己診断が自動的に実行されます。

ステップ 1

» システムコンポーネントが停車した状態で点検されます。



点滅します。

段階 2

» システムコンポーネントが発進時に点検されます。

– ABS 自己診断が完了しました。ABS のアイコンが表示されなくなります。

• すべてのインジケーター／警告灯の表示に注意してください。



ABS 自己診断が完了していません

自己診断が完了していないため、ABS 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、E-Scooter が最低速度に達する必要があります : min 5 km/h)

ABS 自己診断の完了後に、ABS の不具合が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC/DTC 自己診断

BMW Motorrad ASC/DTC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。作動可能状態をオンにした後、自己診断が自動的に実行されます。

ステップ 1

» 停車状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



ゆっくりと点滅します。

段階 2

» 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検。

122 走行



ゆっくりと点滅します。

ASC/DTC 自己診断が終了

» ASC/DTC のアイコンが表示されなくなります。

- すべての警告灯およびインジケーターの表示に注意します。



ASC/DTC の自己診断が完了していません

ホイール回転数センサーを点検するには、エンジンが作動している状態でE-Scooter が最低速度に達する必要があります：

min 5 km/h

ASC/DTC 自己診断の完了後に、ASC/DTC の不具合が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC が使用できないことに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

E-Scooter 作動スタンバイ

Pre-Ride-Check およびABS 自己診断が実行された後、E-Scooter はすべての電装品を含めて作動可能な状態になります。



12 V バッテリーを節約するためには、電流を使用する機器を必ず必要な間だけ有効にして使用し、それ以外の場合は作動可能状態をオフにしておきます。

E-SCOOTER で走行する

E-Scooter の走行可能状態



ブレーキを操作しスタートボタンを押すと、E-Scooter は走行可能な状態になります。駆動システム表示が見えるようになり、READY が表示されます。すべてのシステムは作動可能な状態にあります。イグニッションキルスイッチを押すと、E-Scooter は走行可能な状態ではなくなります。



低温(0 °C 未満)時には、セルの内部抵抗が著しく上昇するために、出力および入力にかかる時間が長くなります。



例外的に、停車している車両でハイボルテージバッテリーが著しく熱くなることがあ

ります(例：極端な外気温度の場合や直射日光の下など)。ハイボルテージバッテリーが過熱状態の場合、E-Scooter は走行できる状態にはなりません。

i 非常に高い温度(35℃超)は、バッテリーセルの寿命を縮めます。走行中にハイボルテージバッテリーが過熱した状態になると、ハイボルテージバッテリーを冷ますため、駆動力が少しずつ低減されます。その際、メーターパネルの出力表示POWERが戻っていきます。温度がそのまま上がり続ける場合には、車両を止め、ハイボルテージバッテリーを冷まします。出力表示が0に落ちた場合、E-Scooter は走行できる状態になく、車両は止まります。

走行可能状態をオンにする

- 作動可能状態をオンにする (▶▶▶ 52)。
- ▶▶ Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 120)
- ▶▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 121)
- ▶▶ ASC/DTC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 121)
- ブレーキを操作します。



- スターターボタン **1** を操作します。

i サイドスタンドが出ている場合、走行スタンバイにはなりません。走行スタンバイがONの状態のときにサイドスタンドが出されると、走行スタンバイはキャンセルされます。

- ▶▶ E-Scooter は走行可能な状態です。
- ▶▶ E-Scooter が走行可能な状態でない場合には、トラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 178)

124 走行

ePOWERによる走行



警告

**電気走行における知覚の悪化。
事故の危険**

- ・電気走行時には、エンジン音がないため通行人およびその他の通行車両がE-Scooterを従来の車両のように知覚できません。
- ・特に注意して走行してください。

減速によるエネルギー回生

ハイボルテージバッテリーはエネルギー回生システムにより再び一部充電されます。エレクトリカルマシンは減速時にジェネレーターのように機能し、運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。

減速は、走行モードおよびEスロットルグリップの位置によって異なります。Eスロットルグリップの操作が小さいほど、減速が大きくなります。その際に、エネルギーが回生され、ハイボルテージバッテリーが充電されます。Eスロットルグリップが全く操作されない場合、軽くブレーキを掛けたように減速します。

以下の条件が満たされる場合、エネルギーが回生されます：

- E-Scooterは走行中である。
- 約5 km/hよりも高速。

以下の状況では、エネルギーは回生されません：

- ハイボルテージバッテリーが満充電されている。
- ハイボルテージバッテリーの温度が極度に低いか高い。冬や夏には、エネルギー回生システムが発進後一時的に使用できない場合があります。



警告

エネルギーが回生されない場合、電気駆動によるブレーキ作用もありません。E-Scooterが通常通り継続して惰走する可能性があります。

事故の危険

- ・常にブレーキを操作できるようにしてください。

減速に向けた走行状況

走行中に減速動作が予測できる場合、これをエネルギー回生に利用することができます。次の典型的な例が、適した走行条件として挙げられます：

- 勾配のある路面における減速
- 赤信号での減速

遅れてブレーキを掛けたり、強くブレーキを操作しないでください。その代わりに、車両をエネル

ギー回生システムにより減速してください。

慣らし走行

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロントおよびリヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変化します。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きな制動力が伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかける必要があります。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。ブレーキ圧が一気に高い圧力で上昇すると、力学的な負荷の配分が減速力の上昇に伴わず、制動力が完全に路面に伝達されません。

126 走行

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときにリアブレーキのみをかける。

ブレーキが効かなくなる。オーバーヒートによるブレーキの破損。

- フロントおよびリアブレーキを使用し、エネルギー回生システムを利用します。



警告

濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる

事故の危険

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効が悪くなります。

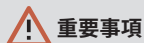
以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。

E-SCOOTER の駐車

サイドスタンド

- 走行可能状態をオフにします。



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。
- サイドスタンドを下ろし、E-Scooter を立てます。
- » サイドスタンドを展開すると、自動的にパーキングブレーキが操作されます。これにより、車両が動き出すことを防ぎます。

⚠ 重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。

- ハンドルを左に回します。

メイン(センター) スタンド -センタースタンド^{OE} 装備

- 走行可能状態をオフにします。

⚠ 重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。

⚠ 重要事項

激しい動きとともにメイン(センター) スタンドを格納する

転倒によるコンポーネントの損傷

- メイン(センター) スタンドを出したままの状態でもーターサイクルに着座しないでください。

- メイン(センター) スタンドを下ろし、E-Scooter をのせます。その際、E-Scooter はパッセンジャー用グリップまたはトップケースホルダーのグリップのところでのみ持ち上げてください。

E-SCOOTER を運搬のために固定する

- 固定用ベルトが取り回されるすべてのコンポーネントを損傷しないように保護します(例、接着テープ)。



⚠ 重要事項

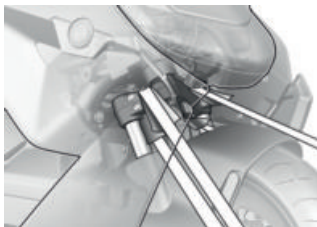
リフトアップのときに車両が左右に傾く

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようになしてください。
- E-Scooter を搬送用プレートの上に移動させます。サイドスタ

128 走行

ンドまたはセンタースタンドで支持しないでください。

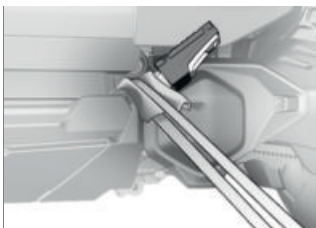


重要事項

コンポーネントの挟み込み

コンポーネントの損傷

- コンポーネント(ブレーキラインやケーブルなど) が挟み込まれないようにしてください。
- フロント側固定ベルトをロアーフォークブリッジ左右に取り付け、ピンと張ります。



- 左後部の固定用ベルトをフットレストの固定プレートに固定します。
- すべての固定用ベルトは均等に張り、E-Scooter ができる限りしっかりと固定されるようにします。

- 右後部の固定用ベルトをフットレストの固定プレートに固定します。

技術情報

09

一般的な情報	132
アンチロックブレーキシステム(ABS)	132
トラクションコントロール(ASC/DTC)	135
回生スタビリティコントロール(RSC)	136
走行モード	137
ダイナミックブレーキコントロール	139
タイヤ空気圧コントロール(RDC)	139
アダプティブヘッドライト	141

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下をご覧ください：bmw-motorrad.com/technik

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。このような状況になる前に、ABS が介入して、伝達される最大制動力にブレーキ圧を適応させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関係なく走行安定性が維持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こります。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときBMW Motorrad ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数（ぬかるみ、凍結、雪の場合）をかなり低く見積もっています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

リヤホイールの浮き上がり

減速が著しく急激な場合、状況によってはBMW Motorrad ABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。

**警告****急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり****転倒の危険**

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。

BMW Motorrad ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。

車速が 4 km/h を超えると、BMW Motorrad ABS は物理的限界内でそれぞれの路面において走行安定性を確保することができます。より低速の場合には、BMW Motorrad ABS はシステム上の制約によりすべての路面では最適にサポートすることができません。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長い時間にわたって妥当でない値が検出されると、安全上の理由からABS機能がOFFになり、ABSの故障の表示が出ます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABS における問題の他にも、特殊な走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります：

- 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際に、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。
- エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック(滑りやすい路面での発進時など)。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS機能は作動可能状態をオン/オフにすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割 りとは？



警告

定期的にメンテナンスされ
ていないブレーキシステム
事故の危険

- BMW Motorrad ABS を確実に最
適な整備状態にしておくため
に、規定の定期点検時期を必
ず順守してください。

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad ABS により制動距離が短くなるからといって、不用意にブレーキングすることは避けなければなりません。この装備は、基本的には緊急事態における安全性を確保するための予防措置です。

コーナリング時のブレーキングには特に注意してください。コーナリング時にブレーキをかけると、モーターサイクルの重量と慣性が勝り、BMW Motorrad ABS といえどもその影響を補正することはできません。

ABS からABS Pro へ、さらなる発展

—走行モードPro^{OE} 装備

これまでBMW Motorrad ABS は、直進走行時のブレーキングにおける安全性に関して極めて高い基準を設定し、実現してきました。そして今、ABS Pro がコーナーにおけるブレーキプロセスにおいても、より高い安全性を提供します。ABS Pro は、もちろん急なブレーキ操作時にも、ホイールのロックを防ぎます。ABS Pro は、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、思いがけない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。

バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS 制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Pro の利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする繊細な応答性と高い制動安定性・走行安定性です。

トラクションコントロール(ASC/DTC)

トラクションコントロールはどのように機能するのでしょうか？

トラクションコントロールには2つの特徴があります

- バンク角についての考慮がない：オートマチックスタビリティコントロールASC
- ASC は、転倒を回避するための基本的な機能です。
- バンク角についての考慮がある：ダイナミックトラクションコントロールDTC
- DTC の制御はバンク角と加速に関する追加情報を通して、より精細かつ快適になります。

トラクションコントロールは、フロントホイールとリアホイールのホイール回転速度を比較します。速度の差から、リアホイールのスリップおよび安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジン(モーター) マネジメントシステムがエンジン(モーター) トルクを調整します。

BMW Motorrad ASC/DTC は、ライダーおよび公道での走行のためのアシストシステムとして考案されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASC/DTC の制御性能に大きな影響を与えます(コーナーでの荷重移動、積載状態など)。



警告

リスクな走行

ASC/DTC を装備していても事故の危険性があります

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リアホイールの回転(空転) やスリップを検知するため、特にフロントおよびリアホイールの回転数が比較され、DTC ではASC に対してバンク角が考慮されます。

ー走行モードPro^{OE} 装備

一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTC が OFF になります。この場合には、DTC の不具合が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる運転／走行状態においては、BMW Motorrad トракションコントロールが自動的に OFF になる場合があります。

特殊な運転／走行状態：

- ー長時間の後輪走行（ウィーリー）。
- ーフロントブレーキをかけた際に、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）。
- ー補助スタンドを立てたままでのウォームアップ



DTC を ON するための最低速度

min 5 km/h

ー走行モードPro^{OE} 装備

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、すべての走行モードでDTCがエンジン（モーター）トルクを抑えます。

フロントホイールの浮き上がりの場合、BMW Motorrad は、E スロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転／走行状態に戻すよう、お勧めします。

走行モードECO では、DTC 設定は走行モードROAD に準じます。

走行モードRAIN、ROAD およびDYNAMIC では、DTC 設定は走行モードに準じます。

回生スタビリティコントロール (RSC)

回生スタビリティコントロールはどのように機能するのでしょうか？

回生スタビリティコントロールは、高い回生トルクによってリヤホイールで引き起こされる不安定な運転／走行状態を確実に回避するという役割があります。路面状態および走行特性によっては、高すぎる回生ブレーキトルクがリヤホイールスリップの発生を著しく増大させ、走行安定性が損なわれることがあります。回生スタビリティコントロールは、走行モードに応じた目的のある安全なスリップを目指し、リヤホイールのスリップを制限します。

リヤホイールでの過大なスリップの原因：

- 摩擦係数の低い路面での回生走行(濡れた木の葉の上など)。
- スポーツ走行時の激しいブレーキング。

BMW Motorrad DTC トラクションコントロールと同様に、回生スタビリティコントロールはホイール回転数およびタイヤ半径から算出されたフロントおよびリヤのホイール回転速度を比較します。その速度差から、回生スタビリティコントロールはリヤホイールのスリップやそれに伴う安定性レベルについて割り出します。

スリップが各限界値を上回ると、回生スタビリティコントロールは低減されます。スリップが軽減され、モーターサイクルが安定します。

回生スタビリティコントロールの効果

- 走行モードECO、RAIN、ROAD：最大限の安定性。
- 走行モードPro^{OE} 装備
- 走行モードDYNAMIC：走行モードRAIN およびROAD よりも少ない制御介入。

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に合わせ、ご希望の走行体験に適したものにするため、走行モードを以下のものから選択することができます：

標準装備

- ECO
- RAIN
- ROAD (標準モード)

-走行モードPro^{OE} 装備

走行モード Pro を使用

-DYNAMIC

これらの走行モードそれぞれに、ABS、DTC、回生スタビリティコントロール、スロットルレスポンス用およびエネルギー回生用に調整されている設定があります。

スロットルレスポンス

- 走行モードECO：控えめなスロットルレスポンス、低減されているトルク。
- 走行モードRAIN：ソフトなスロットルレスポンス。
- 走行モードROAD：最適なスロットルレスポンス。

138 技術情報

- 走行モードPro^{OE} 装備
- 走行モードDYNAMIC：ダイレクトなスロットルレスポンス。

エネルギー回生

- 走行モードRAIN およびROAD：車両の減速による中程度のエネルギー回生。
- 走行モードECO：車両の減速による最大限のエネルギー回生。
- 走行モードPro^{OE} 装備
- 走行モードDYNAMIC：車両の減速による最大限のエネルギー回生。

ABS

- リヤホイールの浮き上がり検知は、すべての走行モードで有効です。
- 走行モードECO、RAIN、ROAD、DYNAMICでは、ABSはオンロード走行に合わせて調整されています。
- 走行モードPro^{OE} 装備

ABS Pro

- ABS Proはすべての走行モードで全面的に利用可能です。E-Scooterのコーナーにおけるブレーキング時の傾きを、最小限に抑えます。

DTC

タイヤの取り付け

- 全走行モードにおいて、DTCはオンロードタイヤでのオンロード走行に調整されています。

走行安定性

- 走行モードRAINでは、最大限の走行安定性を得るために、DTCの介入が早期に行われます。
- 走行モードECOおよびROADでは、DTCの介入が走行モードRAINよりも遅く行われます。リヤホイールの空転ができる限り回避されます。
- 走行モードDYNAMICでは、DTCの介入が走行モードROADよりも遅く行われます。リヤホイールの空転ができる限り回避されます。
- すべての走行モードで、フロントホイールの浮き上がりの防止が行われます。

切替

走行モードは停車状態で作動スタンバイ ON のとき、または走行中に変更することができます。

ご希望の走行モードをまず事前に選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

ECO モード

ECO モードでは加速は制限され、車両の減速によりエネルギーを最大に回生します。ECO モードは最大航続距離に合わせて設計されています。

ダイナミックブレーキコントロール

－走行モードPro^{OE} 装備

Dynamic Brake Control の機能

Dynamic Brake Control の機能は緊急ブレーキ時にライダーをサポートします。

緊急ブレーキの検知

－フロントブレーキが瞬間的に力強く操作されると、緊急ブレーキとして検知されます。

緊急ブレーキの際の挙動

－10 km/h を超える車速で走行しているときに緊急ブレーキが行われると、ABS 機能に加えてDynamic Brake Control が作動します。

E スロットルグリップの誤操作時の動作

－緊急ブレーキ時に E スロットルグリップが誤って操作された場合(グリップ位置 > 5%)、Dynamic Brake Control が「スロットル開」を無視することにより、本来のブレーキ効果を確保します。緊急ブレーキの効果が確保されます。

－Dynamic Brake Control の介入中にスロットルが閉じられると(スロットルグリップ位置 < 5%)、ABS ブレーキシステムによって要求されたエンジン(モーター)トルクが再び確立されます。

－緊急ブレーキが終了しても E スロットルグリップが操作されたままの場合、Dynamic Brake Control はエレクトリカルマシンのトルクを制御し、ライダーの要望に合うように戻します。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)

－タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備

機能

タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と充填圧を測定してコントロールユニットに伝送します。

センサーには遠心ガバナーが装備されており、これにより最初に最低速度を越えた時点で測定値の伝送が行われ始めます。

 RDC 測定値の伝送のため
の最低速度：

min 30 km/h

チャージ圧が最初に受信される前は、ディスプレイにはタイヤごとに「--」が表示されます。停車

140 技術情報

後、センサーはさらに一定の時間、測定値を伝送します。

	車両停止状態後の測定値 の伝送時間:
min 15 min	

RDC コントロールユニットが装備されているが、ホイールにセンサーが取り付けられていないという場合には、エラーメッセージが出ます。

タイヤ充填圧の領域

RDC コントロールユニットは、車両に適合された3つのチャージ圧領域を識別します：

- 充填圧が許容範囲内にある。
- 充填圧が許容限界域にある。
- 充填圧が許容範囲外にある。

温度補正

タイヤ空気圧は温度によって変化します。すなわち、タイヤ内の空気温度が上がるとタイヤ空気圧は増大し、タイヤ内の空気温度が下がると減少します。タイヤ内の空気温度は、外気温度、走行スタイル、走行時間に応じて変化します。

	タイヤ空気圧は TFT ディスプレイに温度補正されて表示され、常に以下のタイヤ内の空気温度の場合の値となります：
20 °C	

ガソリンスタンドの空気圧テスターでは温度補正は行われず、測定されたタイヤ空気圧はタイヤ内の空気温度に左右されています。そのため、そこで表示される値は、大抵の場合、TFT ディスプレイに表示された値とは一致していません。

充填圧の調整

TFT ディスプレイの RDC 値と Rider's Manual の裏表紙に記載されている値を比較してください。これらの値の偏差は、ガソリンスタンドでタイヤ空気圧メーターを使用して補正する必要があります。

	例
Rider's Manual に従ってチャージ圧は以下の値に達する必要があります：	
2.5 bar	
TFT ディスプレイに以下の値が表示されます：	
2.3 bar	
以下が欠如しています：	
0.2 bar	
ガソリンスタンドのテスターでの表示：	
2.4 bar	


正しいチャージ圧を生成するため、以下の値へ高める必要があります：
2.6 bar

なり合うことで、コーナーの奥まで届く照射が可能となります。その結果、コーナリング時の路面の照射が明らかに改善され、走行におけるアクティブセーフティが著しく向上します。

アダプティブヘッドライト

－アダプティブヘッドライト^{OE} 装備

アダプティブヘッドライトはどのように機能するのでしょうか？

ヘッドライト内に標準装備で取り付けられている防眩ユニットは、LEDによりロービームを発するリフレクター2個で構成されています。フロント／リヤサスペンションの車高センサーが、恒常的なヘッドライト光軸調整を可能にするためのデータを提供します。このライトはピッチ補正により、直線走行時に走行や積載状態にかかわらず、常に最適な状態で設定されているエリアを照らします。アダプティブヘッドライトにより、防眩ユニットはさらにバンク角に応じて軸を介して回転し、車両のロール角を調整します。回転角は70°(±35°)になります。

これにより、このロービームではピッチとバンク角の両方の補正が行われます。両方の動きが重

メンテナンス

10

一般的な情報	144
標準ツールキット	145
ブレーキシステム	145
クーラント	148
タイヤ	149
リムとタイヤ	150
ライトバルブ	151
フェアリング部品	151
バッテリー	153
ヒューズ	157
診断コネクタ	159

一般的な情報

「メインテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

取り付ける際に専用の締付けトルクがある場合には、その締付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。

マイクロカプセルボルト

マイクロカプセルは化学的なねじ固定方法です。接着剤により、ボルトとナット、あるいはコンポーネント間の強固な接合を可能にします。そのため、マイクロカプセルボルトは1回限りの使用にのみ適しています。

取り外しの後には、内側のねじ山から接着剤を取り除く必要があります。取り付ける際には、必ず新しいマイクロカプセルボルトを使用してください。そのため、取り外す前には、ねじ山清掃用の適切なツールおよび交換用ボルトを持ち合わせていることを確認してください。不適切な作業が行われると、ボルトの固定機能が保証されなくなり、あなたに危険が及ぶおそれがあります。

記述されている作業の実施にあたっては、専用のツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。



危険

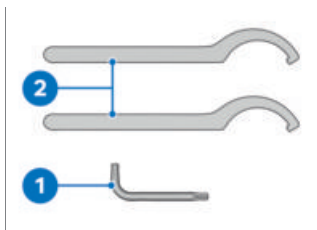
メインテナンス作業やリペア作業が正しく実施されなかった場合。

感電により生命に危険が及ぶおそれがあります。

- ここに記載されていない作業の実施にあたっては、専用のツールと確かな専門知識が必要です。
- 実施する作業は、この章に記載されている作業のみにしてください。記載されている作業は、作動スタンバイがOFFになっている場合にのみ、実施してください。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

**危険****ハイボルテージシステムにおける作業。****生命の危険**

- 車両のハイボルテージシステムは、独立したシステムです。技術的なコンポーネントで作業しない限り、安全性は保証されています。
- BMW Motorrad ディーラーにより訓練された作業員のみがハイボルテージシステムにおける変更や作業を行うことを許可されています。

標準ツールキット

- 1 トルクスレンチ T25
—フェアリング部品を取り外します。
- 2 フックレンチ
—スプリングストラットでのスプリングプリロードの調整 (▶ 99)。

ブレーキシステム**ブレーキの作動を点検する**

- 右ブレーキレバーを操作します。
» はっきりとプレッシャーポイント(軽く止まる位置)が感じられます。
- 左ブレーキレバーを操作します。
» はっきりとプレッシャーポイント(軽く止まる位置)が感じられます。
- パーキングブレーキを点検するため、サイドスタンドを降ろし、E-Scooter を前後に押しずらします。
» E-Scooter を動かすことができません。
プレッシャーポイントがはっきりと感じられない場合、または Scooter が押しずらされる場合：
- ブレーキの点検をBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。

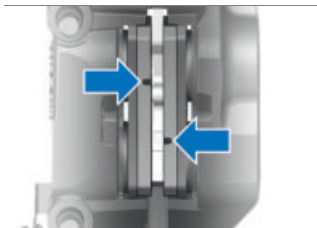
フロントブレーキパッド厚を点検する

- E-Scooter を、平坦で硬い路面の上に停車します。

146 メインテナンス



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキパッド **1** の方へ。



 フロントブレーキパッド
の摩耗限度

min 5.6 mm (キャリアプレート
付きライニング)

摩耗インジケーターがはっきり
と見えなくなっている場合：



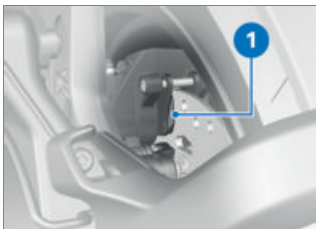
警告

**パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損傷**

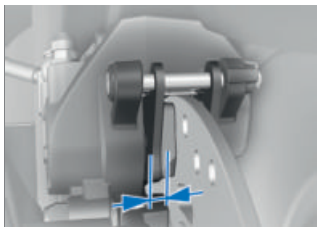
- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。
- BMW Motorrad は、必ず純正ブレーキパッドのみを取り付けることをお勧めします。

リヤブレーキパッド厚を点検する

- E-Scooter を平坦で安定した路面の上に停車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキキャリアパー **1** へ。



 リヤブレーキパッドの摩
耗限度

min 4.5 mm (キャリアプレート
付きライニング)

スリップサインが表示された場
合：



警告

**パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損
傷**

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。
- BMW Motorrad は、必ず純正ブレーキパッドのみを取り付けることをお勧めします。

フロント／リヤブレーキのブレーキフルードレベルを点検する

- ブレーキフルードレベルはブレーキフルードリザーバータンクの点検窓で点検することができます。フロントブレーキ用ブレーキフルードリザーバータンクは右側に、リヤブレーキ用ブレーキフルードリザーバータンクは左側にあります。



警告

**ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れている
ブレーキシステム内の空気、汚
れ、または水によるブレーキ性
能の著しい低下**

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
- ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
- ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。
- E-Scooter を平坦で安定した路面の上に停車します。
- ハンドルバーを、ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように調整します。

148 メインテナンス



- 左または右ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードレベルを点検窓 1 で読み取ります。

 ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



ブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが**MIN**マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクを水平状態にする)

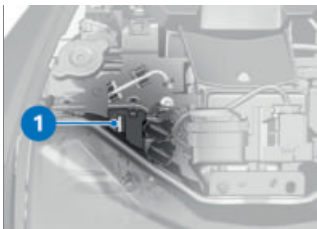
ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クーラント

クーラントレベルを点検する

- E-Scooter を平坦で安定した路面の上に停車します。
- フロントフェアリングを取り外す (▶ 151)。



- クーラントレベル 1 を目視点検で点検します。



 リザーバタンクのクーラント規定レベル

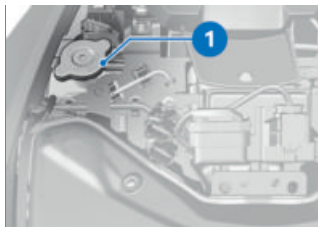
MIN～MAXマークの間 (冷間時クーラント回路)

クーラントレベルが規定値を下回った場合：

- クーラントをできるだけ早く補充するか、BMW Motorrad ディーラーに充填を依頼します。
- フロントフェアリングを取り付ける (▶ 152)。

クーラントを補充する

- フロントフェアリングを取り外す (▶ 151)。
- 駆動システムと冷却システムを冷まします。



- キャップ **1** を開きます。
- クーラントを規定レベルまで補充します。

 クーラント補充量

0.07 l

- クーラントレベルを点検する (▶ 148)。
- リザーバタンクのキャップを閉じます。
- フロントフェアリングを取り付ける (▶ 152)。

タイヤ

タイヤ空気圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切。

Scooter の走行特性が悪化し、タイヤの寿命が低下します。

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。

150 メインテナンス



警告

垂直に取り付けられているバルブコアが高速走行時に勝手に開く

タイヤ空気圧の突然の喪失

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。

- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ空気圧(フロント)

2.3 bar (1名乗車時(タイヤ冷間時))

2.3 bar (2名乗車+荷物積載時(タイヤ冷間時))



タイヤ空気圧(リヤ)

2.5 bar (1名乗車時(タイヤ冷間時))

2.5 bar (2名乗車+荷物積載時(タイヤ冷間時))

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する

- E-Scooter を平坦で安定した路面の上に停車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。

- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて新品に交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。

- E-Scooter を平坦で安定した路面の上に停車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。



摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品がBMW Motorradにより試験が行われ、走行安全性に優れていると位置付けられています。その他のタイヤに関しては、BMW Motorrad ではその適合性を評価できず、走行安全性を保証できません。

BMW Motorrad は、BMW Motorrad によって試験が行われたタイヤのみの使用をお勧めします。

詳細についてはBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいただくか、下記ウェブサイトを参照してください：

bmw-motorrad.com/service

ライトバルブ

LED バルブを交換する



警告

車両バルブ機能停止による道路交通での車両の見過ごし安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

当該モーターサイクルのすべてのライトバルブはLED バルブです。LED バルブはご利用のモーターサイクルより長寿命です。LED バルブの不具合については、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

フェアリング部品

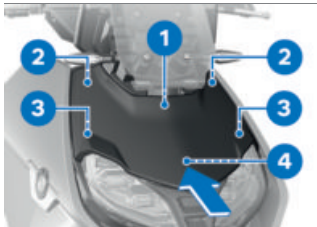
フロントフェアリングを取り外す



- フロントフェアリング **1** をウインドシールド中央下側のグリップのところで前方へ引きまします。
- フロントフェアリング **1** をロック **2** から外します。
- フロントフェアリング **1** を前方へ取り外します。

152 メンテナンス

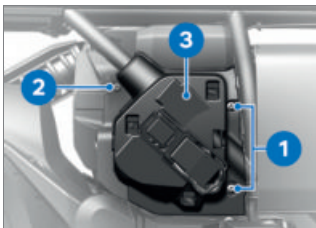
フロントフェアリングを取り付ける



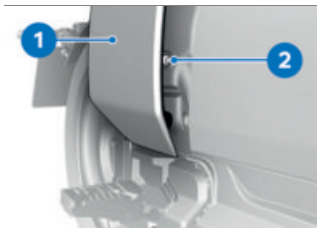
- フロントフェアリング **1** を組み込み、矢印の方向に位置決めします。
- フロントフェアリング **1** をガイド **3** および **4** を使用して通し入れます。
- フロントフェアリング **1** を軽く押して、クランプ **2** にクランプ留めます。



- バッテリーカバー **1** を矢印の方向に取り外します。
- ボルト **2** を取り外します。



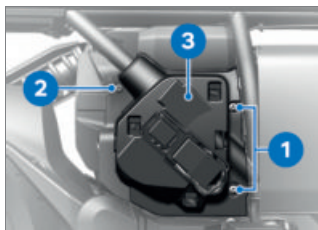
サイドフェアリングを取り外す



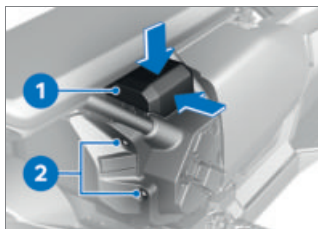
- ボルト **2** を取り外します。
- サイドフェアリング **1** を取り外します。

- ボルト **1** を取り外します。
- フェアリング部品を押し戻し、ボルト **2** を取り外します。
- カバー **3** を取り外します。

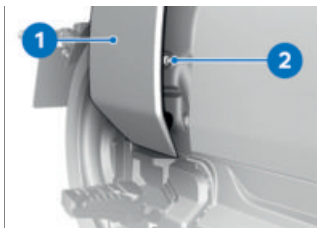
サイドフェアリングを取り付ける



- カバー 3 を組み込みます。
- フェアリング部品を押し戻し、ボルト 2 を取り付けます。
- ボルト 1 を取り付けます。



- ボルト 2 を取り付けます。
- バッテリーカバー 1 を位置決めします。
- バッテリーカバー 1 を上から押して矢印の方向にずらしします。ロックが音をたててかみ合わなければなりません。
- バッテリーカバー 1 がしっかりと取り付けられているかを点検します。



- サイドフェアリング 1 をロックを使用してかみ合わせます。
- ボルト 2 を取り付けます。

バッテリー

一般的な情報

正しい手入れ、充電および保管は 12 V バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件です。

12 V バッテリーの寿命を延ばすために、以下の点に注意してください：

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。

追加充電機能

12 V バッテリーの充電レベルで定められている限界値を下回ると、追加充電機能が作動します。12 V バッテリーは DC/DC コンバーターを経由してハイボルテージバッテリーから再充電さ

154 メインテナンス

れます。これにより、12 V バッテリーの十分な充電レベルが保証されます。

追加充電機能は以下の状況で作動します：

- 走行中：12 V バッテリーは必要に応じて追加充電します。
- 充電プロセス時：12 V バッテリーは追加でハイボルテージバッテリーを追加充電します。
- 駐車状態の間：2 日ごとに 12 V バッテリーの充電レベルを点検し、必要に応じて追加充電します。追加充電の際には、ファンとクーラントポンプの音が聞こえることがあります。

駐車状態が長くなり、その間に 12 V バッテリーを 3 回続けて追加充電する必要があった場合には、作動スタンバイ ON 時に車両電装システムバッテリーの状態。制限なし。専門整備工場にて要点検。が表示されます。さらに詳しい情報については、章「表示」を参照してください。ハイボルテージバッテリーの充電レベルが限界値を下回ると、12 V バッテリーは追加充電ができません。追加充電機能を必要に応じていつでも稼働させられるように、ハイボルテージバッテリーが確実に十分な充電レベルであるようにしておく必要があります。

12 V バッテリーを充電する



重要事項

バッテリーターミナルに接続されている 12 V バッテリーの充電

- 車両エレクトロニクスの損傷
- 充電する前に 12 V バッテリーをバッテリーターミナルから分離してください。



重要事項

完全に放電した 12 V バッテリーを 12 V ソケットで充電する

- 車両エレクトロニクスの損傷
- 完全に放電した 12 V バッテリー（バッテリー電圧 12 V 未満、イグニッションオン時に表示灯およびマルチファンクションディスプレイがオフのまま）を必ず**分離した**バッテリーのターミナルで充電します。



重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャー

チャージャーおよび車両電装系の損傷

- 適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorradディーラーで入手することができます。

- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。



バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。

- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。



電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、車両から分離したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。

E-Scooter は走行できず、作動可能状態でもありません。12 V バッテリーが完全に放電しているかを確認します：

- 作動可能状態をオンにする (▶▶ 52)。

» TFT ディスプレイを確認します：

– 作動スタンバイが ON の状態で TFT ディスプレイが ON のままの場合、バッテリーは完全に放電しています。分離された 12 V バッテリーを直接ターミナルに接続して充電する必要があります。

– TFT ディスプレイが ON になる場合、12 V バッテリーはまだ完全には放電していません。接続された 12 V バッテリーは 12 V コンセントを介して充電することができます。

- 作動可能状態をオフにする (▶▶ 53)。

外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

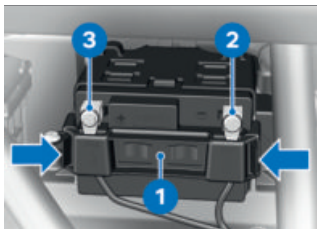
156 メンテナンス

12 V バッテリーの交換

—盗難防止装置 (DWA) ^{OE} 装備

- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀

- 作動スタンバイを OFF にします。
- サイドフェアリングを取り外す (▶▶ 152)。



- 固定ブラケット 1 左右をランプのところで押し付け合わせて、取り外します。



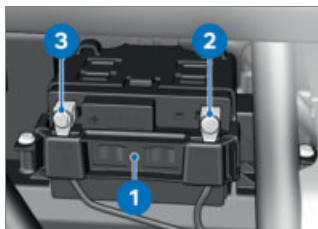
重要事項

バッテリーの接続を不適切な方法で切る

ショートのおそれ

- 接続を切る手順を遵守してください。
- ボルト 2 を取り外し、バッテリーマイナス配線を外します。
- ボルト 3 を取り外し、バッテリープラス配線を外します。
- 12 V バッテリーをバッテリーホルダーから取り出します。

- 12 V バッテリーをバッテリーホルダーに差し込みます。



- 固定ブラケット 1 を 12 V バッテリーに取り付けます。



重要事項

バッテリーの不適切な接続 ショートのおそれ

- 取付け順序を守る。
- バッテリープラス配線を位置決めしてボルト 3 を取り付ける。
- バッテリーマイナス配線を位置決めし、ボルト 2 を取り付けます。
- サイドフェアリングを取り付ける (▶▶ 153)。

ヒューズ

メインヒューズを交換する



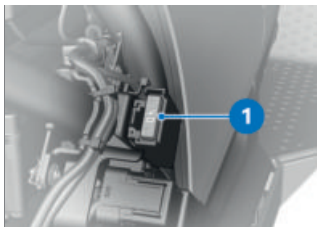
重要事項

故障しているヒューズのバイパス

ショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。

- 作動スタンバイを OFF にします。
- E-Scooter を平坦で安定した路面の上に停車します。
- サイドフェアリングを取り外す (▶▶ 152)。



- 故障したヒューズ **1** を交換します。



ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。

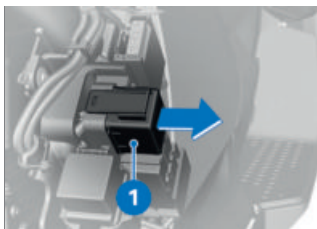


メインヒューズ

40 A (メインヒューズ)

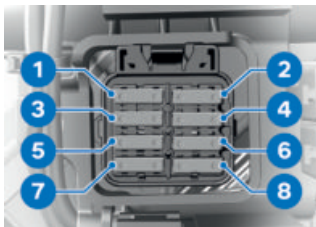
- サイドフェアリングを取り付ける (▶▶ 153)。

ヒューズを交換する



- 作動スタンバイを OFF にします。
- サイドフェアリングを取り外す (▶▶ 152)。
- ヒューズボックス **1** を取り外します。

158 メインテナンス



重要事項

故障しているヒューズのバイパス

ショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。

- 故障したヒューズ 1 - 8 を割り当てに従って交換します。



ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。



クランプ 1

15 A (エレクトリカルマシンエレクトロニクス、リレー KL 30g)



クランプ 2

7.5 A (KL 30b、エレクトリカルマシンエレクトロニクス、ABS、センサーボックス、シートヒーター、USB 充電コンパートメント、RDC、ストレージコンパートメント)



クランプ 3

10 A (エレクトリカルマシンエレクトロニクス)



クランプ 4

7.5 A (KL 30、遮断リレー KL 30b、DWA、イグニッションスイッチ、メーターパネル、オンボードチャージャー、OBD コネクタ)



クランプ 5

7.5 A (KL 30C、左コンビネーションスイッチ、サービスディスクコネクタ、駆動エレクトロニクス、オンボードチャージャー)



クランプ 6

割当なし

	クランプ 7
割当なし	
	クランプ 8
割当なし	

- ヒューズボックスを組み込みます。
- サイドフェアリングを取り付ける (153)。

診断コネクタ

診断コネクタを外す

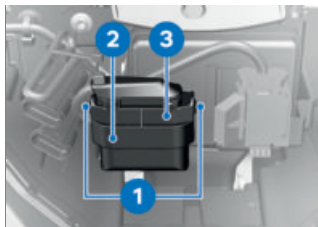


注意

オンボード診断用診断コネクタを外す際の手順の誤り

モーターサイクルの機能障害

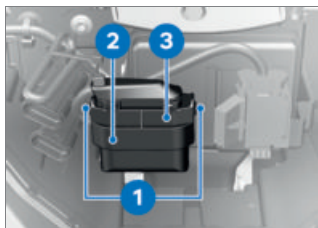
- 診断コネクタの取り外しは、必ず、専門の整備工場またはその他の認定されているメカニックに依頼し、BMW Motorrad サービス中に行ってもらうようにしてください。
- 適切なトレーニングを受けたメカニックに作業の実行を依頼します。
- モーターサイクルメーカーの規定を確認し、遵守してください。
- フロントフェアリングを取り外す (151)。



- ロック 1 の両側を押します。
 - 診断コネクタ 2 をホルダー 3 から外します。
- » 診断システム／情報システム用インターフェースを診断コネクタ 2 に差し込むことができません。

診断コネクタを取り付ける

- 診断システム／情報システム用インターフェースを取り外します。



- 診断コネクタ 2 をホルダー 3 に差し込みます。
- » 両側でロック 1 がかみ合います。
- フロントフェアリングを取り付ける (152)。

アクセサリー

11

一般的な情報	162
電源ソケット	162
トップケース	163

162 アクセサリー

一般的な情報

BMW Motorrad は、モーターサイクル用に BMW が承認している部品やアクセサリーをご使用になることを推奨しています。

BMW 純正部品およびアクセサリーのご購入、それらに関連する専門的なアドバイスにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにお尋ねください。

これらの部品やアクセサリーは、BMW により、その安全性、機能性、適性に関する試験が実施されています。それらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。

BMW 純正品以外の部品やアクセサリーにつきましては、BMW は責任を負いかねます。



注意

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト／点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリー製品のみご利用ください。

変更を加える場合にはすべてにおいて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

電源ソケット

電装系機器の接続

—電源ソケットに接続されている機器は、作動スタンバイが ON の状態でのみ、作動させることができます。

追加装備機器の使用

12 V コンセントを使用している間は、バッテリー容量がモニターされません。ハイボルテージバッテリーを ON にしないまま追加装備機器を長時間作動させていると、12 V バッテリーが完全に放電するおそれがあります。その場合、E-Scooter の作動スタンバイは保証されなくなります。

ケーブルの取り回し

- 電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
- ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
- ケーブルが挟み込まれないようにします。

トップケース

-トップケース^{OA} 装備

トップケースを開く



- キー 1 を時計回りに回します。
- 黄色いロック 2 を押し続けて、キャリングハンドル 3 を開きます。



- 黄色いボタン 1 を前に向かって押して、同時にトップケースリッドを開けます。

トップケース容量を調整する

- トップケースを開き、空にします。

164 アクセサリー



- ケース容量を拡大するには、スイングレバー **1** を前側の最終位置に噛み合わせます。
- ケース容量を縮小するには、スイングレバー **1** を後側の最終位置に噛み合わせます。
- トップケースを閉じます。



トップケース容量

25...35 l

トップケースを閉じる

- トップケースリッドを強く押して閉じます。



重要事項

施錠されたケースロックにおけるキャリングハンドルの折りたたみ

ロックストラップの損傷

- キャリングハンドルを折りたたむ前に、トップケースロックが垂直に立っているか確認してください。

- キャリングハンドル **1** を閉じます。
 - » キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。
- キー **2** を反時計回りに回して引き抜きます。

トップケースを取り外す



- キー 1 を時計回りに回します。
- 黄色いロック 2 を押し続けて、キャリングハンドル 3 を開きます。



- 赤いレバー 1 を後方に向かって引きます。
- » ロックフラップ 2 が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。
- キャリングハンドルを持ち、トップケースをホルダーから取り外します。

トップケースを取り付ける



- 赤いレバー 1 を後方に向かって引きます。
- » ロックフラップ 2 が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。



- トップケースを、トップケース固定プレートの前側ホルダー 1 に掛けます。
- トップケース後部をトップケース固定プレートに押し付けます。

166 アクセサリー



- 抵抗が感じられるまでロックフラップ 1 を前に向かって押します。
- そしてロックフラップとロック解除レバー(赤) 2 を同時に前に向かって押します。
» ロックフラップがロックします。

- キャリングハンドル 1 を閉じます。
» キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。
- キー 2 を反時計回りに回して引き抜きます。

最大積載荷重



トップケースの積載荷重

ートップケース^{OA} 装備

max 5 kg<



重要事項

ロックされたケースロックにより
キャリングハンドルが閉じる
ロックストラップの損傷

- キャリングハンドルを閉じる際、ケースロックを斜めに進行方向に向けるように注意すること。

お手入れ

12

ケア用品	170
洗車	170
損傷しやすい車両部品のお手入れ	171
ペイントのお手入れ	172
保護コーティング	173
E-SCOOTER の長期保管	173
E-SCOOTER の再使用	174

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products については、原料のテストや研究機関による製品テストおよび試用テストが行われており、お客様の車両に使用されている素材のケアと保護を最適に行います。



重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。



重要事項

強度の酸性またはアルカリ性の洗剤の使用について

車両部品の損傷

- 洗剤の包装に記載されている希釈濃度を確認し、遵守してください。
- 決して強度の酸性またはアルカリ性の洗剤を使用しないでください。

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

フォークストラットは定期的に清掃し、汚れを取り除いてください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。



雨天走行後や湿度が高い場合、あるいは洗車後には、ヘッドライトの内側に結露が生じることがあります。そのような場合、ヘッドライトが一時的に曇ることがあります。ヘッドライト内に湿気や水分が長期にわたって溜まっているような場合には、BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場にお問い合わせください。

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド

ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレーキがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。

重要事項

温水による塩の作用の増大
腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。

重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

重要事項

不適切な洗剤の使用

プラスチック表面の損傷

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。

プラスチック部品は水およびBMW プラスチックケア剤を使用して清掃してください。該当部品：

- ウインドシールドおよびウインドディフレクター
- プラスチック製ヘッドライトレンズ
- メーターパネルのカバーガラス
- 非塗装ブラックパーツ

 硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。

フェアリング部品

カバー部分を水とBMW Motorrad クリーナーで清掃します。

172 お手入れ

TFT ディスプレイ

TFT ディスプレイを湯と洗剤を使用して清掃します。続いて、ペーパータオルなどの清潔なウェスで拭き取って乾かします。

クローム

クローム部品を十分な水とBMW Motorrad ケア製品シリーズのモーターサイクルクリーナーで丁寧に清掃します。これは特に融雪塩の影響を受けている場合に該当します。さらに処置を施す場合には、BMW Motorrad メタルポリッシュを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こる電気リカルマシンのオーバーヒートを防ぐためです。園芸用ホースなどを使い、低い水压で清掃してください。

重要事項

ラジエタープレートを折り曲げる

ラジエタープレートの損傷

- 清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。

ラバー

ラバー部品の清掃には、水またはBMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用

ラバーシールの損傷

- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。

ペイントのお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これには、BMW Motorrad クリーナーと、続けて防錆処理のためにBMW Motorrad 光沢ポリッシュの使用をお勧めします。ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見え

やすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

ペイントから水が垂れなくなったら、防錆処理する必要があります。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW Motorrad 光沢ポリッシュおよびカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

E-SCOOTER の長期保管



重要事項

過放電によるハイボルテージバッテリーの損傷

損傷のおそれがあります

- 駐車状態が 4 週間程度の長期にわたる場合には、その前に、ハイボルテージバッテリーがフル充電されていることを確認してください。
- 充電レベルを定期的に点検し、必要に応じてハイボルテージバッテリーを充電してください。
- 車両を、充電レベルが低すぎる状態で長い間置いたままにしておかないでください。



電力による航続可能距離が 10 km 未満の場合には、車両を 14 日間より長く駐車したままにしておかないでください。

- 洗車します。
- チャージプロセスのスタート (109)。
- ブレーキレバー、メイン(センター) スタンド、サイドスタンドの各ピボット部に適切な潤滑剤を塗布／吹き付けます。

174 お手入れ

- むきだしの部品やクローム加工部品に非酸性のグリース(ワセリン)を塗布して保護します。
- E-Scooter を、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します。

E-SCOOTER の再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- E-Scooter を清掃します。
- チェックリスト (119)。

テクニカルデータ

13

トラブルシューティング	178
充電	180
駆動部	180
ギヤボックス	181
リヤホイールドライブ	181
フレーム	181
サスペンション	181
ブレーキ	182
ホイールとタイヤ	182
電装系	183
盗難警報装置	185
寸法	185
重量	186
性能	186

178 テクニカルデータ

トラブルシューティング

走行可能状態をオンにすることができません：

原因	修理
サイドスタンドが展開している	サイドスタンドを格納します。
ブレーキの操作なしでの始動	始動する際には、ブレーキレバーを操作します。
12 V バッテリーが空である	12 V バッテリーを充電する (154)。

Bluetooth 接続が確立されません。

原因	修理
ペアリングに必要なステップが踏まれませんでした。	コミュニケーションシステムの Operating instructions で、ペアリングに必要なステップに関する情報を入手してください。
ペアリングを行ってもコミュニケーションシステムが自動的に接続されません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2 分後に再度接続してください。
ヘルメットに保存されている Bluetooth 機器の数が多すぎます。	ヘルメットのすべてのペアリング登録を削除してください (コミュニケーションシステムの Operating instructions を参照)。
Bluetooth 対応機器を装備した他の車両が付近にあります。	複数の車両との同時ペアリングは避けてください。

180 テクニカルデータ

充電

ハイボルテージバッテリーの総容量	60.6 Ah
充電時間についての注意事項	充電時間の表示は、指定の充電電流で充電されていることを前提としています。温度および選択された充電用インフラストラクチャー、充電ケーブルおよび充電電流制限により、充電時間は長くなることがあります。

充電時間

スタンダード充電ケーブルによるハイボルテージバッテリーのチャージ時間	210 min、80 % 充電：充電電流：10 A 260 min、100 % 充電：充電電流：10 A
Mode3 充電ケーブルによるハイボルテージバッテリーのチャージ時間	65 min、80 % 充電：充電電流：30 A 100 min、100 % 充電：充電電流：30 A
ークイックチャージャー ^{OE} 装備	50 min、80 % 充電：充電電流：30 A 70 min、100 % 充電：充電電流：30 A

駆動部

エンジン番号位置	モーターハウジング下側
エンジン型式	IA0P06A
エンジン型式	同期機
最高回転数	max 12300 min ⁻¹

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	1速ギヤボックス、モーターハウジング内に統合
-----------	------------------------

リヤホイールドライブ

駆動方式	ベルトドライブ
リヤサスペンション型式	リヤホイールアクスルを偏心カムにより調整可能なアルミキャストシングルスイングアーム

フレーム

フレーム型式	スチール製ダブルクレードルフレーム
型式プレート位置	ステアリングヘッドの右フロントフレーム
車両識別番号の位置	メインフレームのフロント側右下

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	テレスコピックフォーク
スプリングトラベル(フロント)	110 mm、フロントホイールで

リヤホイール

リアサスペンションの構造	ダイレクトリンクスプリングストラット、調整式スプリングプリロード付き
リアホイールのスプリング	92 mm、リヤホイールで

182 テクニカルデータ

ブレーキ

フロントホイール	
フロントブレーキ型式	ダブルディスクブレーキ、剛性、直径 265 mm、4 ピストンブレーキキャリパー
フロントブレーキパッドの材質	有機素材
フロントブレーキディスク厚	5 mm、新品時の状態 min 4.5 mm、摩耗限度
ブレーキ操作の遊び (フロントブレーキ)	0.7...3.4 mm、ピストンで

リヤホイール	
リヤブレーキ型式	ディスクブレーキ、直径 265 mm、1 ピストンフローティングキャリパー
リヤブレーキパッドの材質	有機素材
リヤブレーキディスク厚	5 mm、新品時の状態 min 4.5 mm、摩耗限度

ホイールとタイヤ

推奨されるタイヤの組み合わせ	最新の承認タイヤの一覧については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいただくか、ウェブサイト bmw-motorrad.com をご覧ください。
タイヤ速度カテゴリー(フロント／リヤ)	H、少なくとも下記の値以上が必要： 210 km/h

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミキャストホイール
フロントホイールリムサイズ	3.50" x 15"
タイヤサイズ(フロント)	120/70 R 15
タイヤ荷重指数(フロント)	56
許可されたフロントホイールのアンバランス	max 5 g

リヤホイール

リヤホイールの仕様	アルミキャストホイール
リヤホイールリムサイズ	4.50" x 15"
タイヤサイズ(リヤ)	160/60 R 15
タイヤ荷重指数(リヤ)	67
許可されたリアホイールのアンバランス	max 5 g

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧(フロント)	2.3 bar、1 名乗車時(タイヤ冷間時) 2.3 bar、2 名乗車 + 荷物積載時(タイヤ冷間時)
タイヤ空気圧(リヤ)	2.5 bar、1 名乗車時(タイヤ冷間時) 2.5 bar、2 名乗車 + 荷物積載時(タイヤ冷間時)

電装系

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、すべての電源ソケット(合計)
メインヒューズ	40 A、メインヒューズ
クランプ 1	15 A、エレクトリカルマシンエレクトロニクス、リレー Kl. 30g

184 テクニカルデータ

クランプ 2	7.5 A、KL. 30b、エレクトロニクス、ABS、センサーボックス、シートヒーター、USB 充電コンパートメント、RDC、ストレージコンパートメント
クランプ 3	10 A、エレクトロニクス
クランプ 4	7.5 A、KL. 30、遮断リレー KL. 30b、DWA、イグニッションスイッチ、メーターパネル、オンボードチャージャー、OBD コネクタ
クランプ 5	7.5 A、KL. 30C、左コンビネーションスイッチ、サービスディスクコネクタ、駆動エレクトロニクス、オンボードチャージャー
クランプ 6	割当なし
クランプ 7	割当なし
クランプ 8	割当なし
バッテリー	
バッテリー型式	AGM バッテリー (Absorbent Glass Mat : グラスマット吸収式)、メンテナンスフリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	5 Ah

ライトバルブ

ハイビーム用バルブ	LED
ロービームのバルブ	LED
ポジションライト／パーキング ライトバルブ	LED
テールライト／ブレーキライト バルブ	LED
ウインカー用バルブ	LED
ライセンスプレートライト用バルブ	LED

盗難警報装置

—盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2285 mm、ライセンスプレート ベースを含む
全高	1150 mm、ウインドシールドを含む、 DIN 空車時
—ハイウインドシールド ^{OE} 装備	1315 mm、ウインドシールドを含む、 DIN 空車時
全幅	855 mm、ミラー含む 820 mm、ハンドルバーウェイト を含む
フロントシート高さ	780 mm、ライダー非乗車時、 DIN 空車時
—コンフォートシートバックレスト ^{OE} 装備	800 mm、ライダー非乗車時、 DIN 空車時

186 テクニカルデータ

ライダーステップアーチレングス	1810 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-----------------	--------------------------

重量

空車重量	231 kg、DIN 空車時、走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備
許容総重量	410 kg
最大積載荷重	179 kg
トップケースの積載荷重	
ートップケース ^{0A} 装備	max 5 kg
ヘルメット収納スペースの積載	max 8 kg

性能

最高速度	120 km/h
走行可能距離	130 km、WMTC に準拠

サービス

14

リサイクル	190
BMW MOTORRAD サービス	190
BMW MOTORRAD サービス履歴	191
BMW MOTORRAD モビリティサービス	191
メンテナンス作業	191
メンテナンススケジュール	193
メンテナンスの確認	194
一般整備記録	206

リサイクル

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

BMW MOTORRAD サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界 100 か国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実に行うた

めの技術情報および技術的ノウハウを備えています。

最寄りのBMW Motorrad ディーラーについては、こちらのインターネットサイトをご参照ください：bmw-motorrad.com



警告

不適切に行われたメンテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを遵守することをお勧めします。

実施されるメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

BMW Motorrad サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにご確認ください。

BMW MOTORRAD サービス履歴

記入項目

実施したメンテナンス作業が整備手帳に記入されます。整備手帳の記入項目は、定期メンテナンスの証明になります。

車両の電子サービス履歴に記入が行われると、サービスに関するデータがドイツ・ミュンヘンにあるBMW AG 本部 IT システムに保存されます。

サービス履歴に記入されたデータは、車両所有者変更後、新しい所有者も見ることができます。BMW Motorrad ディーラーや専門の整備工場もサービス履歴に記載されているデータを見ることができます。

異議申し立て

車両所有者は、車両を所有する間BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に対して、サービス履歴への記入およびそれに関わる車両データの保存および自動車メーカーへのデータ転送に関して異議を申し立てることができます。この場合、車両のサービス履歴の記入が行われなくなります。

BMW MOTORRAD モビリティサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一の路上故障などのトラブル発生時にはBMW Motorrad モビリティサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。

モビリティサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検(PDI)

BMW 納車前点検(PDI) は、車両をお客様にお渡しする前に、BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～1200 km の間に必ずBMW 初回点検を行ってください。

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad サービスは1年に1度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行した距離に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次のサービス時期を登録します。

1年間にかかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によ

192 サービス

ては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。その場合には、適合する最大限の走行距離が一般整備記録に追加で記入されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合には、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

サービスに関する詳しい情報については、以下をご覧ください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

メンテナンスの確認

BMW Motorrad サービス標準範囲

次に、BMW Motorrad サービス標準範囲の作業が挙げられます。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- バッテリー充電状態を点検する
- BMW Motorrad 診断システムで車両テストを実施する
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続部の目視点検
- フロント／リアのブレーキフルードレベルを点検する
- ブレーキパッドとフロントブレーキディスクの摩耗点検
- リアブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗を点検する
- サイドスタンドに潤滑剤を塗布し、パーキングブレーキ用ボーデンケーブルを点検する
- パーキングブレーキ用ボーデンケーブルのマウント部に潤滑剤を塗布し、パーキングブレーキの基本調整および保持力を点検する
- ステアリングヘッドベアリングを点検する
- クーラントレベルを点検する
- タイヤ空気圧およびトレッドの溝の深さを点検する
- 照明および信号装置を点検する
- スタート許可に関する機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- BMW Motorrad 診断システムを用いて、サービス時期および残余走行距離をセットする
- 車載書類に記載されているBMW Motorrad サービスについて確認する

**BMW プリデリバリーチェック
(PDI)**

実施済み

日付_____

押印、署名

BMW 初回点検

実施済み

日付_____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付_____

または最短

距離(km) _____

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

ベルトを交換する

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

ギヤオイルの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

ベルトを交換する

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

ギヤオイルの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

ベルトを交換する

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

ギヤオイルの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

ベルトを交換する

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

ギヤオイルの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

ベルトを交換する

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

ギヤオイルの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐☐

ベルトを交換する

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

ギヤオイルの交換

☐☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

ベルトを交換する

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

ギヤオイルの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐☐

ベルトを交換する

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

ギヤオイルの交換

☐☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

ベルトを交換する

☐ ☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐ ☐

ギヤオイルの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐☐

ベルトを交換する

☐☐

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

☐☐

ギヤオイルの交換

☐☐

注意事項

押印、署名

一般整備記録

この表は、メンテナンスおよび修理作業、アクセサリーの取り付け、特別キャンペーンの実施についての証明となります。

[illegible]

認証

15

ハイボルテージセルモジュールの出力および条件に対する BMW CE 04 BATTERY CERTIFICATE

ハイボルテージセルモジュールに関しては、販売 BMW Motorrad ディーラーが BMW CE 04 の新車を購入されたお客様に対して、BMW CE 04 の新車の販売条件に基づく欠陥補償請求を補足する形で以下のサービスを保証します：

1. BMW CE 04 新車のハイボルテージセルモジュールに関する BMW CE 04 Battery Certificate
は BMW CE 04 新車で最初の 40000 km に有効であり、走行距離に関係なく、BMW CE 04 新車の初回納車または初度登録の遅くとも 5 年後に終了します。その際には、先に該当した条件の時点が適用されます(「証明書有効期間」)。

2. 証明書の有効期間中は、
お客様はハイボルテージセルモジュールにおける欠陥の修理を無償で請求することができます。

3. 証明書の有効期間中にハイボルテージセルモジュールにおける欠陥により BMW CE 04 車両をけん引しなければならない場合、最寄りの BMW CE 04 サービスワー

クショップへのけん引に必要な費用はお客様に返金されます。

4. リチウムイオンハイボルテージバッテリーの容量は、
技術的な理由により使用期間を通して低下していきます(自然放電)。証明書の有効期間中に BMW Motorrad ディーラーで容量を測定した際に、純バッテリー容量が BMW CE 04 新車両を納車した時点の値の 70 % を下回る場合、この 70 % を下回る割合は過度の容量損失とみなされます。この過度の容量損失は、無償で修理されます。

5. この BMW CE 04 Battery Certificate に基づくサービス保証は、
車両を販売した BMW Motorrad ディーラー、ならびに CE 04 販売市場* における各 BMW Motorrad ディーラーで請求することができます。

6. BMW CE 04 Battery Certificate に基づくサービス保証の適用は、
メーカーにより規定されたインターバルでメインテナンスを受け、このメインテナンスの枠内でハイボルテージセルモジュールの点検、そして必要に応じて整備を受けることが前提条件となっています。このサービス保証は、ハイボルテージセルモジュールの欠陥または過度の容量損失が事故による損傷に起因する場合、

- BMW CE 04 車両を認証されていない条件下で走行したことに起因する場合（認証条件が初度納車国とは異なる国での走行など）、または
- モーターサイクルレースへの参加などBMW CE 04 車両が不適切に取り扱われたり酷使された場合、または
- メーカーにより承認されていない部品がBMW CE 04 車両に取り付けられた場合、またはBMW CE 04 車両またはその部品（ソフトウェアなど）がメーカーにより許可されていない方法により変更された場合、または
- BMW CE 04 車両の（特に Rider's Manual に基づく）取り扱い、メンテナンスおよび手入れに関する規定が遵守されなかった場合、または
- ハイボルテージバッテリーを開いたり、BMW CE 04 車両から取り外された場合には除外されます。

7. この BMW CE 04

Battery Certificate は、BMW CE 04 新車両に対する販売条件を補足する要素です。BMW CE 04 新車両に対する販売条件に基づくサービス保証および請求は、このBMW CE 04 Battery Certificate に基づく

サービス保証により制限されることはありません。

8. BMW CE 04 車両の所有者が変更しても、BMW CE 04 Battery Certificate に基づくサービス保証は制限されません。

* 販売市場：アンドラ、ベルギー、中国、ドイツ、フランス、英国、アイルランド、イタリア、日本、韓国、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、モナコ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、ロシア、サンマリノ、スイス、スペイン、米国。

電子式イモビライザーに関する認証	213
KEYLESS RIDE に関する認証	216
タイヤ空気圧コントロールに関する認証	220
TFT メーターパネル用認証	221

Declaration of Conformity

Radio equipment electronic immobiliser (EWS4)

For all countries without EU

Technical information

Frequency Band: 134 kHz
(Transponder: TMS37145 /
Type DST80, TMS3705
Transponder Base Station IC)
Output Power: 50 dB μ V/m

Manufacturer and Address

Manufacturer:
BECOM Electronics GmbH
Address: Technikerstraße 1,
A-7442 Hochstraß

Argentina

 **RAMATEL**

H-25246

Australia/New Zealand



R-NZ

Brunei



TA No: DTA-007061

United Arab Emirates

TRA
REGISTERED No:
ER89926/20

DEALER No:
DA96133I20

Philippiens



NTC

Type Approved
No.: ESD-RCE-2023298

South Africa



TA-2020/6131

APPROVED

India

ETA-SD-20200905860

Belarus



Indonesia

72790/SDPPI/2021

13349



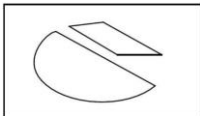
Dilarang melakukan perubahan
Spesifikasi yang dapat
Menimbulkan gangguan fisik
dan/atau elektromagnetik
terhadap lingkungan sekitarnya

Taiwan



低功 電波 射性電機管 辦法
第十二條 經型式認證合格之低
功率射頻電 機，非經許可，公
司、商號或使用者均不得擅 自變
更頻率、加大功率或變更原設計
之特性及 功能。第十四條 低功
率射頻電機之使用不 得影響飛航
安全及干擾合法通信；經發現有
干 擾現象時，應立即停用，並改
善至無干擾時方 得繼續使用。前
項合法通信，指依電信法規定作
業之無線電 通信。

Paraguay



CONATEL

NR: 2020-11-I-0834

Malaysia



RFCL/47A/0920/S(20-3358)

Singapore

Complies with
IMDA Standards
N3504-20

Israel

מספר אישור אלחוטי של משרד התקשורת הוא
51-74908
אסור להחליף את האנטנה המקורית של המכשיר
לע
שות בו כל שינוי טכני אחר
ולא

United States (USA)

Contains FCC ID:

ODE-MREWS5012

FCC § 15.19 Labelling requirements

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada's licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC § 15.21 Information to user

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

RF Exposure Requirements

To comply with FCC RF exposure compliance requirements, the device must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons.

Serbia



P1620118300

Canada

Contains IC:

10430A-MREWS5012

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Vietnam



A1109091120AF04A3

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada:

Product name: BMW Keyless Ride ID
Device FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Argentina:

CNC COMISIÓN NACIONAL
DE COMUNICACIONES

H-17115

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment-Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1 .9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW; Part 1: Technical characteristics and test methods. Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking:



Velbert, October 15th, 2013

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Ben A. Müller', is written over a horizontal line.

Benjamin A. Müller

Product Development Systems
Car Access and Immobilization -
Electronics Huf Hülsbeck & Fürst
GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551
Velbert

Certification Tire Pressure Control (TPC)

FCC ID: MRXBC54MA4
IC: 2546A-BC54MA4

FCC ID: MRXBC5A4
IC: 2546A-BC5A4

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

WARNING: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

WARNING: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.

Declaration of Conformity

Radio equipment TFT instrument cluster

For all Countries without EU

Model name: ICC10in

Technical information

The ICC10in can operate in one of two operating modes:

1. Normal mode, with Bluetooth and WLAN on, and
2. Radio off mode (only available during vehicle manufacturing).

BT operating frq. Range:

2402 – 2480 MHz

BT version: 4.2 (no BTLE)

BT output power:

< +4 dBm (internal antenna)

WLAN operating frq. Range:

2402 – 2472 MHz

WLAN standards:

IEEE 802.11 b/g/n

WLAN output power:

< +14 dBm (internal antenna)

Manufacturer and Address

Manufacturer:

Robert Bosch GmbH

Address:

Robert-Bosch-Platz 1,
70839 Gerlingen, Germany

Turkey

Robert Bosch GmbH, ICC10in tipi telsiz sisteminin 2014/53/EU nolu yönetmeliğe uygun olduğunu beyan eder. AB Uygunluk Beyanı'nın tam metni, aşağıdaki internet adresinden görülebilir: <http://cert.bosch-carmultimedia.net>

Brazil

Este equipamento não tem direito de proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์
มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

(This telecommunication equipments is in compliance with NTC requirements)

Argentina

 **RAMATEL**

C-25636

Canada

This device contains licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Radiofrequency radiation exposure Information: This equipment complies with Canada radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20 centimeters between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Informations sur l'exposition aux radiofréquences:
Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux radiations fixées par le Canada pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec une distance minimale de 20 centimètres entre le radiateur et votre corps. Cet émetteur ne doit pas être co-localisée ou opérant en conjonction avec autre antenne ou émetteur.

United States (USA)

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to this equipment not expressly approved by Robert Bosch GmbH may void the FCC authorization to operate this equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Radiofrequency radiation exposure Information: This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20 cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Japan

This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law (電波法) and the Japanese

Telecommunications Business Law (電気通信事業法)

本製品は、電波法と電気通信事業法に基づく適合証明を受けております。

This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid)

本製品の改造は禁止されています。
(適合証明番号などが無効となります。)



201-200559



20 0138 201

Korea

Equipment Name: BMW A-Kombi

Basic model number: ICC10in

Manufacturer/Country of Origin:

Robert Bosch GmbH / 포르투갈

Zertifikatsnummer:

R-R-BO2-ICC10in

Serbia



ID: M011 20

Mexico

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.



IFETEL

Taiwan, Republic of

取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

226 索引

1

12 V コンセント
車両における位置, 15
使用上の注意, 162

12 V バッテリー
交換する, 156

A

ABS
技術情報, 132
自己診断, 121
表示, 46

ASC
インジケーター／警告灯, 41
技術情報, 135
自己診断, 121

B

Bluetooth, 83
ペアリング, 83

D

DTC
インジケーター／警告灯, 41
技術情報, 135
Dynamic Brake Control, 139
技術情報, 139

E

E-Scooter
お手入れ, 168
固定する, 127
清掃する, 168
駐車, 126
長期保管, 173
EWS
電子式イモビライザー(EWS), 33

K

Keyless Ride
ステアリングロックをロックする, 52
電子式イモビライザーEWS, 54
無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失, 54

P

Pairing, 83
Pre-Ride-Check, 120
Pure
画面, 80

R

RDC
技術情報, 139
警告表示, 43
RSC
技術情報, 136

W

WLAN, 85

あ

アクセサリー
一般的な情報, 162
値
表示, 26
アダプティブヘッドライト, 141
安全に関する注意事項
ブレーキについて, 125
ライディングにあたって, 118

い

イグニッションキルスイッチ, 17
操作する／取り扱う, 56
インジケーター／警告灯, 18
全体図, 22

う

ウインカー

操作する／取り扱う, 60

操作部, 16

え

エネルギー回生

警告表示, 39

制限, 79

エンジン

駆動システム故障警告灯, 35

エンジン始動ロック, 54

EWS 警告表示, 33

お

お気に入りボタン

機能を割り当てる, 79

お手入れ

クローム, 172

ペイント保護コーティング,
173

オンボードコンピューター, 89

か

外気温度

外気温度警告, 33

表示, 33

型式プレート

車両における位置, 15

き

キー, 52

記号と意味, 4

ギヤボックス

仕様(諸元), 181

く

クーラント

異常高温用警告表示, 38

充填レベルを点検する, 148

補充する, 149

リザーバタンク, 14

駆動システム故障警告灯, 35, 36

駆動システム表示, 79

駆動部

仕様(諸元), 180

グリップヒーター

操作する／取り扱う, 65

け

警告灯, 18

全体図, 22

警告表示

ABS, 46

ASC, 41

DTC, 41

EWS, 33

My Motorcycle, 86

RDC, 43

エネルギー回生, 39

エンジンコントロール, 36

外気温度警告, 33

駆動システム故障警告灯, 35

充電プラグ, 38

電子式イモビライザーEWS, 33

盗難警報装置, 35

ハイボルテージシステム, 36

バッテリー充電レベル, 37

表示, 26

ライトコントロールの故障, 34

ライトバルブの故障, 33

冷却水温, 38

警告表示一覧, 28

こ

光軸

調整エレメント, 14

後退走行

操作する／取り扱う, 57

高電圧システム

警告表示, 36

228 索引

高電圧バッテリー

仕様(諸元), 180

コンビネーションスイッチ

右側面, 17

さ

サービス, 190

サービス履歴, 191

サービス表示, 48

サスペンション

仕様(諸元), 181

作動可能状態

OFFにする, 53

ONにする, 52

し

シートヒーター

操作する／取り扱う, 65

始動, 120, 122

操作部, 17

車両識別番号

車両における位置, 15

充電ケーブル, 106

充電する

充電ケーブル, 106

充電電流, 109

充電プラグの緊急ロック解

除, 113

充電プロセスの開始, 109

充電プロセスの終了, 113

全体図, 25

充電電流

調整する, 109

充電プラグ

緊急ロック解除する, 113

警告表示, 38

充電プロセス

始動, 109

終了する, 113

充電レベル

警告表示, 37

重量

仕様(諸元), 186

出力

制限, 79

仕様(諸元)

一般的な情報, 5

規格, 5

ギヤボックス, 181

駆動部, 180

サスペンション, 181

充電時間, 180

重量, 186

寸法, 185

性能, 186

タイヤ, 182

電装系, 183

盗難警報装置, 185

ハイボルテージバッテ

リー, 180

バッテリー, 184

バルブ, 185

ブレーキ, 182

フレーム, 181

リヤホイールドライブ, 181

診断コネクタ

固定する, 159

車両における位置, 14

外す, 159

す

ステータスバー(上側)

調整する, 77

ストレージコンパートメント

車両における位置, 15

操作する／取り扱う, 66

非常ロック解除, 69

ヘルメット, 68

スプリットスクリーン, 80

OFF にする, 81

ON にする, 80

表示を選択する, 80

スプリングプリロード

調整エレメント(リヤ), 14

調整する, 99

寸法

仕様(諸元), 185

せ

制限速度情報

ON または OFF にする, 78

性能

仕様(諸元), 186

積載荷重一覧

車両における位置, 15

全体図

My Motorcycle, 86

TFT ディスプレイ(Pure Ride 画面), 23

TFT ディスプレイ(充電画面), 25

TFT ディスプレイ(メニュー画面), 24

インジケーター／警告灯, 22

左コンビネーションスイッチ, 16

左側面, 14

右コンビネーションスイッチ, 17

右側面, 15

メーターパネル, 18

そ

走行可能距離, 80

走行モード

技術情報, 137

調整する, 61

装備, 5

た

タイヤ

充填圧, 183

充填圧を点検する, 149

推奨, 151

トレッドの溝の深さを点検する, 150

慣らし走行, 125

タイヤ空気圧コントロール(RDC)

表示, 42

ち

チェックコントロール

ダイアログ画面, 26

表示, 26

チェックリスト, 119

駐車, 126

つ

ツールキット

車両での位置(Torx T25), 14

車両における位置(フックレンチ), 15

内容, 145

て

デイルイト

オートマチックデイルイト, 59

操作部, 16

TFT ディスプレイ, 18

Pure Ride 概要, 23

上側のステータスバーを交換する, 77

充電の概要, 25

スプリットスクリーンを ON にする, 80

230 索引

操作する／取り扱う, 76, 81
表示を選択する, 73
メニューの概要, 24
電話
操作する／取り扱う, 93

と
盗難警報装置(DWA)
インジケーター／警告灯, 18
警告表示, 35
仕様(諸元), 185
操作する／取り扱う, 62
時計
調整する, 82
トップケース
操作する／取り扱う, 163
トラクションコントロール
ASC, 135
DTC, 135
トラブルシューティング, 178

な
ナビゲーション
操作する／取り扱う, 90
慣らし走行, 125

に
荷物
積載に関する注意, 118

は
ハザードランプ
操作する／取り扱う, 60
操作部, 16
パッセンジャー用グリップ
車両における位置、左, 14
車両における位置、右, 15
バッテリー
12 V バッテリーの充電, 154
一般的な情報, 153
追加充電機能, 153

車両における位置, 15
充電レベル, 80
仕様(諸元), 184
外したバッテリーを充電する, 155

バルブ
LED バルブを交換する, 151
仕様(諸元), 185
ライトバルブの故障用警告表示, 33

ひ
非常ロック解除
ヘルメットコンパートメント, 69
Pure Ride
画面, 79
全体図, 23
ヒューズ
交換する, 157
車両における位置, 15

ふ
フェアリング
サイドフェアリングを取り付ける, 153
サイドフェアリングを取り外す, 152
フロントフェアリングを取り付ける, 152
フロントフェアリングを取り外す, 151
フォロミーホームライト, 58
ブレーキ
ABS Pro の詳細, 134
安全に関する注意事項, 125
機能を点検する, 145
仕様(諸元), 182

ブレーキパッド

慣らし走行, 125

フロントを点検する, 145

リヤを点検する, 146

ブレーキフルード

フロントブレーキの充填レベル
を点検する, 147

リヤブレーキフルードレベルの
点検, 147

リヤブレーキリザーバタン
ク, 14, 15

フレーム

仕様(諸元), 181

へ

ヘッドライト

光軸, 98

ヘルメット

収納する, 68

ヘルメット収納スペース

車両における位置, 15

操作する／取り扱う, 68

ほ

ホイール

仕様(諸元), 182

ホイールリムを点検する, 150

ホーン, 16

本書の記述について, 6

み

ミラー

調整する, 98

め

メンテナンス

一般的な情報, 144

メンテナンススケジュー
ル, 193

メンテナンススケジュー
ル, 191

メンテナンスの確認, 194

メーターパネル

周囲輝度センサー, 18

全体図, 18

メディア

操作する／取り扱う, 92

メニュー

呼び出す, 76

も

モーターサイクル

再使用, 174

モビリティサービス, 191

ら

ライト

オートマチックデイライト, 59

操作部, 16

デイランニングライトを操作す
る, 59

パーキングライトを操作す
る, 58

ハイビームを操作する, 58

パッシングライトを操作す
る, 58

フォローミーホームライト, 58

ポジション／パーキングライ
ト, 58

ロービーム, 58

り

リサイクル, 190

232 索引

リバースユニット

操作部, 16

リモートコントロール

バッテリーを交換する, 55

リヤホイールドライブ

仕様(諸元), 181

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2021 Bayerische Motoren

Werke Aktiengesellschaft

80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

オリジナル Rider's Manual、

Printed in Germany

重要なデータ：

充電時間

スタンダード充電ケーブルによるハイボルテージバッテリーの充電時間	210 min、80 % 充電：充電電流：10 A 260 min、100 % 充電：充電電流：10 A
----------------------------------	---

Mode3 充電ケーブルによるハイボルテージバッテリーの充電時間	65 min、80 % 充電：充電電流：30 A 100 min、100 % 充電：充電電流：30 A
----------------------------------	--

ークイックチャージャー ^{OE} 装備	50 min、80 % 充電：充電電流：30 A 70 min、100 % 充電：充電電流：30 A
------------------------------	---

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧(フロント)	2.3 bar、1 名乗車時(タイヤ冷間時) 2.3 bar、2 名乗車 + 荷物積載時(タイヤ冷間時)
--------------	---

タイヤ空気圧(リヤ)	2.5 bar、1 名乗車時(タイヤ冷間時) 2.5 bar、2 名乗車 + 荷物積載時(タイヤ冷間時)
------------	---

ご使用の車両に関する詳細情報については、こちらのサイトをご覧ください：
bmw-motorrad.com

